

(様式第 10)

徳大院総第 23 号  
平成 26 年 10 月

厚生労働大臣

殿

徳島大学長 香川 隆行

徳島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 25 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒770-8501 徳島市新蔵町2丁目24番地
氏 名	徳島大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

徳島大学病院
--------

3 所在の場所

〒770-8503 徳島市蔵本町2丁目50番地の1	電話(088)631-3111
------------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1 循環器内科 2 神経内科 3	4	5
6	7	
8	9	10
11	12	13
14		
診療実績		

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無					
外科と組み合わせた診療科名						
1 心臓血管外科	2 形成外科	3 小児外科	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
診療実績						

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科		⑮麻酔科	⑯救急科			

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無					
歯科と組み合わせた診療科名						
1 矯正歯科	2 小児歯科	3 歯科口腔外科	4	5	6	7
歯科の診療体制						

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 病理診断科	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
45 床	8 床	0 床	0 床	643 床	696 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成26年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	233人	187人	378.7人	看 護 補 助 者	32人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	89人	69人	132.3人	理 学 療 法 士	11人	臨 床 検 査 技 師	55人
薬 剤 師	49人	0人	49人	作 業 療 法 士	5人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	6人	そ の 他	0人
助 産 師	37人	0人	37人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	632人	40人	666.4人	臨 床 工 学 技 師	14人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	10人
准 看 護 師	0人	4人	3.5人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	47人
歯 科 衛 生 士	9人	6人	13.6人	歯 科 技 工 士	7人	事 務 職 員	132人
管 理 栄 養 士	10人	5人	12.7人	診 療 放 射 線 技 師	40人	そ の 他 の 職 員	3人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成26年10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	22人	眼 科 専 門 医	11人
外 科 専 門 医	39人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	12人
精 神 科 専 門 医	14人	放 射 線 科 専 門 医	19人
小 児 科 専 門 医	16人	脳 神 経 外 科 専 門 医	19人
皮 膚 科 専 門 医	5人	整 形 外 科 専 門 医	17人
泌 尿 器 科 専 門 医	10人	麻 酔 科 専 門 医	16人
産 婦 人 科 専 門 医	18人	救 急 科 専 門 医	3人
		合 計	221人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	546.0人	19.2人	565.2人
1日当たり平均外来患者数	1,316.3人	449.7人	1,766.0人
1日当たり平均調剤数	入院 464.4 剤	外来 228.2 剤	
必要医師数			135人
必要歯科医師数			25人
必要薬剤師数			28人
必要(准)看護師数			342人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

### 9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	225.5m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	11床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 495 m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 0台		病床数	28床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 32 m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	72m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動開栓受付分注装置, 全自動生化学分析装置			
細菌検査室	260m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 細菌同定薬剤感受性測定装置, 抗酸菌培養装置, 細菌検査装置			
病理検査室	352m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動免疫染色装置, SL医用写真撮影装置			
病理解剖室	161m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台, スケール付ストレッチャー			
研究室	253m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) マルチスライスCT, 四肢用MRI, 回診用X線装置			
講義室	854m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	25室	収容定員	534人
図書室	90m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	6000冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

### 10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日	
紹介率	75.8 %	逆紹介率	54.6 %
算出根拠	A: 紹介患者の数	16,193人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,883人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	288人	
	D: 初診の患者の数	21,734人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数        該当ありません。

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
筋過緊張に対する muscle afferent block (MAB) 治療	12人
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法	2人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	1人
ボルデゾミブ静脈内投与、メルフェラン経口投与及びデキサメタゾン経口投与の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

該当ありません。

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	54人	・膿疱性乾癬	11人
・多発性硬化症	79人	・広範脊柱管狭窄症	12人
・重症筋無力症	88人	・原発性胆汁性肝硬変	29人
・全身性エリテマトーデス	190人	・重症急性膵炎	0人
・スモン	10人	・特発性大腿骨頭壊死症	1人
・再生不良性貧血	25人	・混合性結合組織病	32人
・サルコイドーシス	98人	・原発性免疫不全症候群	3人
・筋萎縮性側索硬化症	41人	・特発性間質性肺炎	23人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	88人	・網膜色素変性症	0人
・特発性血小板減少性紫斑病	23人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	40人	・肺動脈性肺高血圧症	5人
・潰瘍性大腸炎	125人	・神経線維腫症	20人
・大動脈炎症候群	23人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	18人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	27人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	61人	・ライノゾーム病	2人
・クローン病	63人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	7人	・脊髄性筋委縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	200人	・球脊髄性筋委縮症	8人
・アミロイドーシス	11人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0人
・後縦靭帯骨化症	130人	・肥大型心筋症	13人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	4人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	2人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	42人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	49人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、 先端巨大症、下垂体機能低下症)	72人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・退院調整加算
・歯科外来診療環境体制加算	・総合評価加算
・歯科診療特別対応連携加算	・病棟薬剤業務実施加算
・特定機能病院入院基本料	・データ提出加算
・臨床研修病院入院診療加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・救急医療管理加算	・特定集中治療室管理料2
・超急性期脳卒中加算	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・妊産婦緊急搬送入院加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・診療録管理体制加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・急性期看護補助体制加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・看護補助加算	・小児入院医療管理料2
・療養環境加算	・短期滞在手術等基本料1
・重症者等療養環境特別加算	・短期滞在手術等基本料2
・無菌治療室管理加算1	・入院時食事療養／生活療養(I)
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・検体検査管理加算(IV)
・高度難聴指導管理料	・遺伝カウンセリング加算
・糖尿病合併症管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・植込型心電図検査
・がん患者指導管理料1	・時間内歩行試験
・がん患者指導管理料2	・胎児心エコー法
・外来緩和ケア管理料	・ヘッドアップティルト試験
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・人工臓腑
・糖尿病透析予防指導管理料	・皮下連続式グルコース測定
・外来リハビリテーション診療料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・外来放射線照射診療料	・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
・ニコチン依存症管理料	・光トポグラフィー
・地域連携診療計画管理料	・神経学的検査
・がん治療連携計画策定料	・補聴器適合検査
・がん治療連携管理料	・ロービジョン検査判断料
・肝炎インターフェロン治療計画料	・コンタクトレンズ検査料1
・薬剤管理指導料	・内服・点滴誘発試験
・医療機器安全管理料1	・センチネルリンパ節生検(併用)
・医療機器安全管理料2	・センチネルリンパ節生検(単独)
・医療機器安全管理料(歯科)	・CT透視下気管支鏡検査加算
・歯科治療総合医療管理料	・画像診断管理加算1
・在宅患者歯科治療総合医療管理料	・歯科画像診断管理加算1
・持続血糖測定器加算	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・造血器腫瘍遺伝子検査	・CT撮影及びMRI撮影
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・冠動脈CT撮影加算
・検体検査管理加算(I)	・大腸CT撮影加算

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓MRI撮影加算	・腫瘍脊椎骨全摘術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・外来化学療法加算1	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・無菌製剤処理料	・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))
・心大血管疾患リハビリテーション料(I)	・羊膜移植術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・運動器リハビリテーション料(I)	・網膜再建術
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・がん患者リハビリテーション料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・認知療法・認知行動療法1	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・精神科作業療法	・乳がんセンチネルリンパ節加算1
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・乳がんセンチネルリンパ節加算2
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・経皮的冠動脈形成術
・医療保護入院等診療料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・経皮的冠動脈ステント留置術
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・透析液水質確保加算1	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・一酸化窒素吸入療法	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・CAD/CAM冠	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術(レーザーシースを用いるもの)
・歯科技工加算	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・補助人工心臓
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・経皮的大動脈遮断術

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ダメージコントロール手術	・画像誘導放射線治療 (IGRT)
・腹腔鏡下肝切除術	・体外照射呼吸性移動対策加算
・生体部分肝移植術	・直線加速器による放射線治療(定位放射線治療)
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・同種死体腎移植術	・病理診断管理加算2
・生体腎移植術	・口腔病理診断管理加算2
・膀胱水圧拡張術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・歯科矯正診断料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	
・輸血管理料 I	
・内視鏡手術用支援機器加算	
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・歯周組織再生誘導手術	
・手術時歯根面レーザー応用加算	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・麻酔管理料(I)	
・麻酔管理料(II)	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・CTガイド下気管支鏡検査	・
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。  
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	37回
部 検 の 状 況	部検症例数 36 例 / 部検率 16.44%

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
腸炎ビブリオにおけるⅢ型分泌機能の数と病原性誘導	高橋 章	歯科口腔外科	5,500,000	補委	日本学術振興会
加齢グラフト部分肝移植における機能不全の解明と新たな治療法の開発	島田 光生	消化器・移植外科学	4,000,000	補委	日本学術振興会
シェーグレン症候群に対する病期対応型テーラーメイド医療の構築	東 雅之	口腔内科学	3,300,000	補委	日本学術振興会
皮膚創傷治癒に及ぼす高脂血症と高血糖の影響	中西 秀樹	形成外科学	800,000	補委	日本学術振興会
難治性口内炎に対するメラトニンを用いた戦略的治療法の開発	工藤 景子	口腔外科学	1,100,000	補委	日本学術振興会
ヒストンアセチル化制御による免疫寛容誘導と移植後腫瘍保護作用の研究	岩橋 衆一	消化器・移植外科	1,100,000	補委	日本学術振興会
破骨細胞との共存下における癌細胞の生存促進と薬剤耐性の機序の解明およびその克服	渡邊 佳一郎	矯正歯科	1,100,000	補委	日本学術振興会
FGF18と骨微小環境模倣性スキャフォールドを用いたiPS細胞による骨再生医療	小林 真左子	口腔外科学	1,100,000	補委	日本学術振興会
糖尿病による歯周病悪化での小胞体ストレス応答伝達タンパク質ATF6の役割の解明	高原 一菜	矯正歯科	1,100,000	補委	日本学術振興会
ジストニアの病理に関する包括的研究	後藤 恵	先端運動障害治療学	1,200,000	補委	日本学術振興会
異所性脂肪の心臓血管病発症における病態生理学的意義の解明	島袋 充生	心臓血管病態医学	1,100,000	補委	日本学術振興会
尿中アンジオテンシノーゲン測定による小児慢性腎炎の新たなバイオマーカーの開発	漆原 真樹	小児科	700,000	補委	日本学術振興会
腎発生及びCAKUTでの活性酸素と細胞接着のシグナルクロストークとその役割解明	近藤 秀治	小児医学	800,000	補委	日本学術振興会
リンパ浮腫に対する細胞移植治療によるリンパ管再生研究	北市 隆	心臓血管外科学	600,000	補委	日本学術振興会
食道表在癌に対するセンチネルリンパ節ナビゲーションシステムの構築	川上 行奎	地域外科診療部	200,000	補委	日本学術振興会
肺高血圧症におけるARNT-HIF1系を介する低酸素応答機構の解明	菅野 幹雄	心臓血管外科	800,000	補委	日本学術振興会

胎生期肺組織移植による肺気腫治療の実験的検討－豚肺気腫モデルを用いて－	先山 正二	胸部・内分泌・腫瘍外科学	1,300,000	補委	日本学術振興会
慢性障害脊髄に対する薬物治療の検討－血液脊髄関門の通過性に注目して	加藤 真介	リハビリテーション部	500,000	補委	日本学術振興会
前虚血操作の虚血再灌流障害に対する腎保護作用とremote作用の検討	井崎 博文	泌尿器科	800,000	補委	日本学術振興会
スプリントの治療効果と睡眠時下顎安静位の関係	大倉 一夫	咬合管理学	700,000	補委	日本学術振興会
サイトカイン療法と唾液腺機能再生療法によるシェーグレン症候群の新規治療法の開発	茂木 勝美	口腔内科	1,000,000	補委	日本学術振興会
ストレス蛋白質誘導による心筋保護作用:多角的心保護戦略を目指して	北畑 洋	歯科麻酔科学	1,200,000	補委	日本学術振興会
歯周病の進行度からみた感染性心内膜炎の発症リスクに関する研究	二宮 雅美	歯周歯内治療学	1,200,000	補委	日本学術振興会
ヒト肺がん脳転移モデルを用いた新規脳転移療法開発のための探索的研究	埴淵 昌毅	呼吸器・膠原病内科学	1,200,000	補委	日本学術振興会
加齢に伴うネフロン減少の分子病態の解明	安部 秀斉	腎臓内科学	1,100,000	補委	日本学術振興会
タキサン併用術前化学療法の食道癌への効果予測因子と予後規定因子の解明	丹黒 章	胸部・内分泌・腫瘍外科学	1,400,000	補委	日本学術振興会
血管リモデリングにおけるマクロファージ低酸素応答性転写因子Hifの役割	木下 肇	心臓血管外科	1,200,000	補委	日本学術振興会
吸入麻酔薬の心保護作用におけるGLP-1受容体の役割	大下 修造	麻酔・疼痛治療医学	1,800,000	補委	日本学術振興会
多嚢胞性卵巣症候群患者に対する治療法の個別化に関する内分泌学的検討	苛原 稔	産科婦人科学	1,200,000	補委	日本学術振興会
重症患者の予後予測マーカーとしての末梢血アデノシン三リン酸の有用性の評価	小野寺 陸雄	救急集中治療医学	300,000	補委	日本学術振興会
歯髄炎の病態形成における象牙芽細胞の細菌侵襲に対する免疫機構の解明	高橋 加奈子	歯科保存学	1,000,000	補委	日本学術振興会
菌体外DNA・蛋白複合体を標的とした口腔バイオフィルム感染症の予防と治療法の開発	湯本 浩通	第一保存科	1,100,000	補委	日本学術振興会
咀嚼・嚥下機能を最適化する全部床義歯形態のイノベーション	永尾 寛	口腔顎顔面補綴学	500,000	補委	日本学術振興会
温度応答性ポリマーによる口腔ケアに有効な義歯安定剤の開発	友竹 偉則	口腔インプラントセンター	1,700,000	補委	日本学術振興会

エピジェネティクス機構をターゲットとした唾液腺癌に対する新規分子標的治療の開発	大江 剛	口腔外科	1,100,000	補委	日本学術振興会
ファイブロティックアクティビティから薬物性歯肉増殖症の発症リスクを診断する	美原 智恵	歯周歯内治療学	2,000,000	補委	日本学術振興会
マクロファージTLR9を介した新しいインスリン抵抗性発現メカニズムの解明	福田 大受	心臓血管病態医学	1,700,000	補委	日本学術振興会
脂肪細胞由来のマイクロRNAを介した血管リモデリング制御機構の解析	八木 秀介	循環器内科学分野	1,700,000	補委	日本学術振興会
軸索膜電位とイオンチャンネル機能異常をターゲットとしたALSの新規治療法の開発	野寺 裕之	臨床神経科学分野	2,200,000	補委	日本学術振興会
肺高血圧症における内皮由来過分極因子の役割解明と治療応用	早瀬 康信	小児医学	1,600,000	補委	日本学術振興会
バクテリアルトランスロケーション下の腸管免疫機構の解明と治療法への展開	栗田 信浩	地域外科診療部	1,300,000	補委	日本学術振興会
Epigeneticsに着眼した加齢肝機能不全の解明と制御に関する研究	森根 裕二	消化器・移植外科	1,800,000	補委	日本学術振興会
膵島移植における脂肪由来幹細胞を用いたIBMIR制御に関する研究	池本 哲也	消化器・移植外科学	1,500,000	補委	日本学術振興会
悪性神経膠腫に対するAd-REICの抗腫瘍効果とWntシグナル制御の分子機構	溝渕 佳史	脳神経外科学	1,700,000	補委	日本学術振興会
レミフェンタニルが吸入麻酔薬による心筋保護効果と抗炎症効果に及ぼす影響	田中 克哉	麻酔・疼痛治療医学	1,900,000	補委	日本学術振興会
バーチャルリアリティー(仮想現実)を用いた平衡訓練法の開発	武田 憲昭	耳鼻咽喉科学	2,000,000	補委	日本学術振興会
脂肪組織由来幹細胞を用いた三次元腸管組織再生法の開発	石橋 広樹	消化器・移植外科	1,500,000	補委	日本学術振興会
歯科用IPを用いた原子力発電所事故による放射性セシウムの検出能	吉田 みどり	歯科放射線学	1,100,000	補委	日本学術振興会
睡眠時ブラキシズム発現時の咬合の可視化	重本 修伺	咬合管理学	1,500,000	補委	日本学術振興会
チタンアレルギーの解明と予防法の検討	細木 真紀	咬合管理学	1,000,000	補委	日本学術振興会
新規培養法CTOSを用いた口腔癌に対する抗癌剤感受性試験の開発と耐性機構の解明	高丸 菜都美	口腔外科	2,000,000	補委	日本学術振興会
TRPA1チャンネル阻害剤を応用した薬物性歯肉増殖症の治療薬の開発	中川 弘	小児歯科	1,900,000	補委	日本学術振興会



歯周組織の恒常性維持機構における歯根膜機能の解析および新しい歯周組織再建法の開発	長谷川 智一	小児歯科学	1,400,000	補委	日本学術振興会
人工ヌクレアーゼ(TALEN)を用いた遺伝子改変マウス作製法の超簡便化	泰江 章博	口腔顎顔面矯正学	1,500,000	補委	日本学術振興会
歯周炎病変局所におけるTh17細胞浸潤・活性化機構の解析	細川 義隆	歯科保存学	1,700,000	補委	日本学術振興会
肺線維症に対する抗線維化ペプチド吸入療法の開発	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科学	800,000	補委	日本学術振興会
結合組織マトリックスタンパクの質量解析の確立	佐藤 紀	リハビリテーション部	600,000	補委	日本学術振興会
慢性腎臓病患者の予後予測スコアリングシステムの樹立	安部 尚子	検査部	1,000,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平苔癬に対する新規疾患病因論とそれに基づく治療戦略	東 雅之	口腔内科学	800,000	補委	日本学術振興会
光コヒーレンストモグラフィを用いた新しい神経筋画像検査の確立	大崎 裕亮	神経内科	1,400,000	補委	日本学術振興会
ボツリヌス毒素を用いた咬合感覚異常に対する治療法の開発	松香 芳三	咬合管理学	1,200,000	補委	日本学術振興会
健忘作用獲得のための新しい精神鎮静法の確立	富岡 重正	歯科麻酔科学	1,300,000	補委	日本学術振興会
エクソソームによる新規上皮-間葉相互作用の概念とその応用	岩本 勉	小児歯科学	1,500,000	補委	日本学術振興会
生理活性ペプチドGhrelinの特異性を生かした新しい心筋炎治療法の開発	植松 悦子	循環器内科学	1,300,000	補委	日本学術振興会
TGF- $\beta$ 1溶出性グラフトによる先天性心疾患における肺循環	阪田 美穂	小児科	500,000	補委	日本学術振興会
3テスラMRスペクトロスコピーによる婦人科腫瘍の非侵襲病理組織診断の検討	竹内 麻由美	放射線部	1,500,000	補委	日本学術振興会
骨端部薬剤持続投与方法による新たな長管骨長径成長制御法の開発	江西 哲也	リハビリテーション部	1,300,000	補委	日本学術振興会
花粉症に対する鼻噴霧ステロイド薬の初期療法の効果と分子メカニズムの解明	北村 嘉章	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,100,000	補委	日本学術振興会
慢性唾液腺炎に対する内因性リガンドとしての飽和脂肪酸の作用とその制御	四釜 洋介	糖尿病対策センター	1,700,000	補委	日本学術振興会
予知性の高いインプラント最終上部構造の設計指標の確立	石田 雄一	口腔顎顔面補綴学	700,000	補委	日本学術振興会

加齢による唾液腺機能低下に対するアンチエイジング療法の構築	山村 佳子	口腔管理センター	900,000	補委	日本学術振興会
抗TNF療法による唾液腺機能再生医療の構築	青田 桂子	口腔内科	1,600,000	補委	日本学術振興会
D-ドーパクロムトートメラーゼの脂肪細胞における発現調節機構に関する研究	石本 恭子	矯正歯科	1,300,000	補委	日本学術振興会
終末糖化産物とレドックス制御との関連から探る糖尿病関連歯周炎の病態	板東 美香	第二保存科	1,700,000	補委	日本学術振興会
血中脂肪細胞特異的脂肪酸結合蛋白質、脂肪酸分画と糖代謝異常に関する疫学研究	秦 明子	糖尿病対策センター	1,900,000	補委	日本学術振興会
プリオン病においてNMDA型グルタミン酸受容体抗体が病態に果たす役割の解明	藤田 浩司	臨床神経科学	1,300,000	補委	日本学術振興会
自閉症のイメージングジェネティクスによる病態解明の試み	伊藤 弘道	小児科	2,000,000	補委	日本学術振興会
喫煙肺腺癌特異的なエピゲノム異常を指標にした新規診断・治療標的遺伝子の同定	梶浦 耕一郎	卒後臨床研修センター	2,000,000	補委	日本学術振興会
肘離断性骨軟骨炎の外的及び内的要因に対する研究	鈴江 直人	整形外科	1,800,000	補委	日本学術振興会
大腿骨頭壊死モデルラットを用いたステロイド性骨壊死発症超早期における病態解明	後東 知宏	運動機能外科学	1,500,000	補委	日本学術振興会
選択的ニューロキニン1受容体拮抗型制吐剤が術後嘔気・嘔吐に及ぼす影響	曾我 朋宏	手術部	1,900,000	補委	日本学術振興会
増殖糖尿病網膜症の血管新生における転写因子PPAR $\gamma$ の役割	香留 崇	視能訓練部	2,200,000	補委	日本学術振興会
歯髄炎の病態形成におけるAlarminレセプターの機能解析	平尾 功治	第一保存科	1,900,000	補委	日本学術振興会
定量的感覚閾値測定法の確立とインプラントにおける咬合調整への応用	後藤 崇晴	口腔顎顔面補綴学	1,800,000	補委	日本学術振興会
Fingolimodは重症筋無力症の治療となりうるか？	松井 尚子	神経内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
ADCC活性に基づく肺癌・中皮腫の抗体療法開発と免疫学的バイオマーカー探索	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科学	4,100,000	補委	日本学術振興会
出生後早期の臍帯血細胞移植による未熟肺血管床発育動態に関する研究	北川 哲也	心臓血管外科学	4,600,000	補委	日本学術振興会
咀嚼の質を測る:食品表現型、感覚、脳活動からの総体的アプローチ	市川 哲雄	口腔顎顔面補綴学	2,900,000	補委	日本学術振興会

骨格系の分子制御機構の解明とその異常による病態の治療法の開発	松本 俊夫	生体情報内科学	5,300,000	補委	日本学術振興会
RANKL/Fasを介した関節リウマチにおける骨軟骨破壊機構の解明	井澤 俊	口腔顎顔面矯正学	8,700,000	補委	日本学術振興会
ジストニアの病態と疫学に関する研究	梶 龍児	臨床神経科学	3,800,000	補委	厚生労働省
生殖補助医療により出生した児の長期予後と技術の標準化に関する研究	苛原 稔	産科婦人科学	42,600,000	補委	厚生労働省
DNAメチル化修飾に着目したうつ病のマーカー作成 — 双極、単極、治療抵抗性うつ病の識別を目指して—	大森 哲郎	精神医学	23,100,000	補委	厚生労働省
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	松本 俊夫	生体情報内科学	1,270,000	補委	国立保健医療科学院
前庭機能異常に関する調査研究	武田 憲昭	耳鼻咽喉科学	800,000	補委	国立保健医療科学院
神経変性疾患に関する調査研究	梶 龍児	臨床神経科学	6,300,000	補委	国立保健医療科学院
免疫性神経疾患に関する調査研究	梶 龍児	臨床神経科学	1,500,000	補委	国立保健医療科学院
がん化学予防剤の開発に関する基礎及び臨床研究	高山 哲治	消化器内科学	1,500,000	補委	厚生労働省
健康づくり施策の効率性等の経済分析に関する研究	島袋 充生	心臓血管病態医学	400,000	補委	厚生労働省
特定健診・保健指導におけるメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出に関する横断・縦断研究	島袋 充生	心臓血管病態医学	1,100,000	補委	厚生労働省
希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究	梶 龍児	臨床神経科学	600,000	補委	国立保健医療科学院
びまん性肺疾患に関する調査研究	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科学	500,000	補委	国立保健医療科学院
進行・再発膵癌に対する新規エピソードペプチドカクテル療法と標準化学療法の併用効果を検討する多施設共同第 I / II 相臨床試験	島田 光生	消化器・移植外科学	1,000,000	補委	厚生労働省
重症のインフルエンザによる肺炎・脳症の診断・治療に関する研究：新規診断・治療に関する提案と検証	西村 匡司	救急集中治療医学	1,200,000	補委	厚生労働省
高次脳機能障害者の社会参加支援の推進に関する研究	永廣 信治	脳神経外科学	600,000	補委	厚生労働省

糖尿病性腎症ならびに腎硬化症の診療水準向上と重症化防止にむけた調査・研究に関する研究	安部 秀斉	腎臓内科学	900,000	補 委	厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究	松本 俊夫	生体情報内科学	1,350,000	補 委	国立保健医療科学院
BIM遺伝子多型に起因するEGFR変異肺がんのEGFRチロシンキナーゼ阻害薬耐性をポリノスタット併用で克服する研究	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科学	2,000,000	補 委	厚生労働省
希少性難治性疾患－神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット(HAL-HN01)に関する医師主導治験の実施研究	梶 龍児	臨床神経科学	800,000	補 委	国立保健医療科学院
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	原田 雅史	放射線科学	2,000,000	補 委	厚生労働省
C型肝炎の新規診断法や新規治療法を開発するためのゲノムワイド関連解析の手法を用いた宿主因子の解析に関する研究	宇都宮 徹	消化器・移植外科学	1,000,000	補 委	厚生労働省
突発性正常圧水頭症の病因・病態と診断・治療に関する研究	和泉 唯信	神経内科	500,000	補 委	厚生労働省
腹膜播種を伴う胃癌に対するパクリタキセル腹膜内投与併用療法の有用性を評価する第Ⅲ相臨床試験	栗田 信浩	地域外科診療部	400,000	補 委	厚生労働省
アcantアメーバ角膜炎制御にむけたコンタクトレンズケアの実態調査	江口 洋	眼科	1,000,000	補 委	厚生労働省
				補 委	

計 114

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Shimabukuro M	循環器内科	Miglitol, alpha-glycosidase inhibitor, reduces visceral fat accumulation and cardiovascular risk factors in subjects with the metabolic syndrome: A randomized comparable study.	Int J Cardiol. 2013;167(5):2108-2113
2	Shimabukuro M	循環器内科	Defects of vascular nitric oxide bioavailability in subjects with impaired glucose tolerance: A potential link to insulin resistance.	Int J Cardiol. 2013;167(1):298-300
3	Hara T	循環器内科	Constrictive pericarditis with intrapericardial abscess.	Circ J. Circ J. 2013;77(3):786-788
4	Hara T	循環器内科	A case of successful use of microsnare to hold and pull the retrograde guidewire for the intervention to peripheral chronic total occlusion.	Cardiovasc Interv Ther. 2013;28(3):287-290
5	Ise T	循環器内科	Ulcer-like projection caused by a penetrating branch to the bronchial artery.	J Am Coll Cardiol. 2013;61(8):e147
6	Hara T	循環器内科	Eosinophilic myocarditis due to churg-strauss syndrome with markedly elevated eosinophil cationic protein.	Int Heart J. 2013;54(1):51-53
7	Shimabukuro M	循環器内科	Epicardial adipose tissue volume and adipocytokine imbalance are strongly linked to human coronary atherosclerosis.	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2013;33(5):1077-1084
8	Soeki T	循環器内科	Ghrelin protects the heart against ischemia-induced arrhythmias by preserving connexin-43 protein.	Heart Vessels. 2013;28(6):795-801
9	Fukuda D	循環器内科	Expanded roles of the renin-angiotensin system.	Hypertens Res. 2013;36(7):586-587
10	Kusunose K	循環器内科	Interval from the onset of transmitral flow to annular velocity is a marker of LV filling pressure.	JACC Cardiovasc Imaging. 2013;6(4):528-530
11	Hara T	循環器内科	Spectacular migration of a central venous catheter into the pulmonary artery.	Heart Asia. 2013;5:42-43
12	Shimabukuro M	循環器内科	Ectopic fat deposition and global cardiometabolic risk: New paradigm in cardiovascular medicine.	J Med Invest. 2013;60(1-2):1-14
13	Yagi S	循環器内科	Renin-angiotensin-aldosterone system has a pivotal role in cognitive impairment.	Hypertens Res. 2013;36(9):753-758
14	Yamaguchi K	循環器内科	Effects of telmisartan on inflammatory cytokines and the coronary plaque component as assessed on integrated backscatter intravascular ultrasound in hypertensive patients.	Circ J. 2014;78(1):240-247
15	Sata M	循環器内科	Two cases of acute myocardial infarction during combined chemotherapy in young patients with testicular cancer.	JC Cases. 2013;7(6):e176-180
16	Yagi S	循環器内科	Pharmacology of aldosterone and the effects of mineralocorticoid receptor blockade on cardiovascular systems.	Acta Cardiol Sin. 2013;29:201-207
17	Yamada H	循環器内科	Report of the American College of Cardiology (ACC) Scientific Sessions 2013, San Francisco--highlighting late-breaking trials.	Circ J. 2013;77(5):1139-1145
18	Hirata Y	循環器内科	HMGB1 plays a critical role in vascular inflammation and lesion formation via toll-like receptor 9.	Atherosclerosis. 2013;231(2):227-233
19	Masahiro Abe	生体情報内科 学	Microenvironment for myeloma growth and drug resistance	International Journal of Myeloma 3(1):2-11 2013
20	Shikama Y	糖尿病対策セ ンター	Effects of free fatty acids on human salivary gland epithelial cells.	J Dent Res ;92(6):540-6 2013

21	Takeshi Harada	生体情報内科学	Association of Th1 and Th2 cytokines with transient inflammatory reaction during lenalidomide plus dexamethasone therapy in multiple myelom	Int J Hematol 97(6):743-8 2013
22	Matsumoto T	生体情報内科学	Gold nanoparticle cluster-plasmon-enhanced fluorescent silica core-shell nanoparticles for X-ray computed tomography-fluorescence dual-mode imaging of tumors	Chem Commun (Camb) 49(46):5334-6 2013
23	Shingen Nakamura	生体情報内科学	Activating transcription factor 4, an ER stress mediator, is required for, but excessive ER stress suppresses osteoblastogenesis by bortezomib	Int J Hematol 98(1):66-73 2013
24	Sumiko Yoshida	生体情報内科学	Androgen receptor promotes sex-independent angiogenesis in response to ischemia and is required for activation of vascular endothelial growth factor receptor signaling	Circulation 128(1):60-71 2013
25	Hata A	糖尿病対策センター	Magnesium intake decreases Type 2 diabetes risk through the improvement of insulin resistance and inflammation: the Hisayama Study.	Diabet Med. 30(12):1487-94 2013
26	Takeshi Harada	生体情報内科学	Combination with a defucosylated anti-HM1.24 monoclonal antibody plus lenalidomide induces marked ADCC against myeloma cells and their progenitors	PLoS ONE 8(12)e83905 2013
27	Mizuho Kinouchi	生体情報内科学	Diabetic Conditions Differentially Affect the Endothelial Function, Arterial Stiffness and Carotid Atherosclerosis	J Atheroscler Thoromb 21(5):486-500 2014
28	Masahiro Abe	生体情報内科学	Bench work for the targeted therapy to the microenvironment of myeloma bone disease.	Clin Lymphoma Myeloma Leuk 14(1):8-9 2014
29	Kuroda A	糖尿病臨床・研究開発センター	Regular insulin, rather than rapid-acting insulin, is a suitable choice for premeal bolus insulin in learn patients with type 2 diabetes mellitus	Journal of Diabetes investigation 20;9(3):e92170 2014
30	Kimura T	消化器内科	Pedunculated duodenal carcinoid successfully removed by endoscopic resection with endoloop.	Journal of Digestive Diseases, 2013;14(7):402-404
31	Tanaka T	消化器内科	Novel des-gamma-carboxy prothrombin in serum for the diagnosis of hepatocellular carcinoma.	J Gastroenterol Hepatol, 2013;28(8):1348-1355
32	Kitamura S	消化器内科	Prevalence and characteristics of nodular gastritis in Japanese elderly.	J Gastroenterol Hepatol, 2013;28(7):1154-1160
33	Okamoto K	消化器内科	Lessons from imperfect endoscopic submucosal dissection of rectal tumor.	Dig Endosc, 2013;25(Suppl 2):31-36
34	Tsuda M	消化器内科	Suppressive effect of RAS inhibitor manumycin A on aberrant crypt foci formation in the azoxymethane-induced rat colorectal carcinogenesis model.	J Gastroenterol Hepatol, 2013;28(10):1616-1623
35	Okamoto K	消化器内科	Mucosectom2-short blade for safe and efficient endoscopic submucosal dissection of colorectal tumors.	Endoscopy, 2013;45(11):928-930
36	Kitamura S	消化器内科	Endoscopic submucosal dissection through a gastrostomy for early gastric cancer in patients with pharyngeal stenosis.	Gastrointest Endosc, 2014;79(2):206-207
37	Okada Y	消化器内科	Biomarkers for Predicting the Efficacy of Anti-Epidermal Growth Factor Receptor Antibody in the Treatment of Colorectal Cancer.	Digestion, 2014;89(1):18-23
38	Sato M	消化器内科	High antitumor activity of pladienolide B and its derivative in gastric cancer.	Cancer Science, 2014;105(1):110-116
39	Okamoto K	消化器内科	Endoscopy of aberrant crypt foci: the expert approach.	Video Journal and Encyclopedia of GI Endoscopy, 2013;1(2):357-358
40	Muguruma N	消化器内科	Endoscopic molecular imaging: status and future perspective.	Clin Endosc, 2013;46(6):603-610

41	Hirao A	消化器内科	Development of a renal subcapsular hematoma during angiography for diagnosis and subsequent treatment of hepatocellular carcinoma.	Clin J Gastroenterol, 2014;7(2):185-188
42	Sato S	呼吸器・膠原病内科	Macrophage stimulating protein promotes liver metastases of small cell lung cancer cells by affecting the organ microenvironment.	Clin Exp Metastasis. 30(3):333-344, 2013.
43	Nishioka Y	呼吸器・膠原病内科	Targeting platelet-derived growth factor as a therapeutic approach in pulmonary fibrosis.	J Med Invest. 60(3,4):175-183, 2013.
44	Toyoda Y	呼吸器・膠原病内科	Thymidine Phosphorylase Regulates the Expression of CXCL10 in Rheumatoid Arthritis Fibroblast-like Synoviocytes.	Arthritis Rheum. 66(3):560-568, 2014.
45	Terasawa Y	臨床神経科学	Increasing and persistent DWI changes in a patient with hereditary diffuse leukoencephalopathy with spheroids	J Neurol Sci. 2013 Dec 15;335(1-2):213-5.
46	Fujita K	臨床神経科学	Increased interleukin-17 in the cerebrospinal fluid in sporadic Creutzfeldt-Jakob disease: a case-control study of rapidly progressive dementia	J Neuroinflammation. 2013 Nov 13;10:135.
47	Miyamoto R	臨床神経科学	DYT6 in Japan-genetic screening and clinical characteristics of the patients	Mov Disord. 2014 Feb;29(2):278-80.
48	Nakajima K	脳神経外科	The ARNT-STAT3 axis regulates the differentiation of intestinal intraepithelial TCR alpha beta+CD8 alpha alpha+ cells	Nature Communications, 1-11, 2013
49	Yamaguchi T	脳神経外科	Microbleeds as a prognostic factor for acute subdural hematoma	Neurol Med Chir (Tokyo), 53: 318-322, 2013
50	Kageji T	脳神経外科	Correlation between radiation dose and histopathological findings in patients with glioblastoma treated with boron neutron capture therapy (BNCT)	Applied Radiation and Isotopes, 88: 20-22, 2014
51	Nagai K	腎臓内科	Dual Involvement of Growth Arrest-specific Gene 6 in the Early Phase of Human IgA Nephropathy	PLoS ONE, 8(6), e66759, 2013
52	Mima A	腎臓内科	Inflammation and Oxidative Stress in Diabetic Nephropathy: New Insights on Its Inhibition as New Therapeutic Targets	Journal of Diabetes Research, Vol.2013, 248563, 2013
53	Tanioka T	精神医学	Factors associated with discharge of long-term inpatients with schizophrenia in Japan : a retrospective study.	Issues Ment Health Nurs. 34:256-264,2013
54	Kinoshita M	精神医学	Plasma total homocysteine is associated with DNA methylation in patients with schizophrenia.	Epigenetics. 1:8(6):584-590,2013
55	Watanabe S	精神医学	Microarray analysis of global gene expression in leukocytes following lithium treatment.	Hum Psychopharmacol. 29(2):190-198,2014
56	Hayabuchi Y	小児医学	Subclavian and pulmonary artery steal phenomenon in a patient with isolated left subclavian artery and right aortic arch.	J Clin Ultrasound 41(4):265-8, 2013
57	Sakata M	小児医学	Left atrial volume change throughout the cardiac cycle in children with congenital heart disease associated with increased pulmonary blood flow: evaluation using a novel left atrium-tracking method.	Pediatr Cardiol. 34(1):105-11, 2013
58	Toda Y	小児医学	Effects of intravenous diazepam on high-frequency oscillations in EEGs with CSWS.	Brain Dev 35(6):540-7, 2013.
59	Hayabuchi Y	小児医学	Ratio of early diastolic tricuspid inflow to tricuspid lateral annulus velocity reflects pulmonary regurgitation severity but not right ventricular diastolic function in children with repaired tetralogy of Fallot.	Pediatr Cardiol 34(5):1112-7, 2013
60	Urushihara M	小児医学	Glomerular angiotensin-converting enzyme 2 in pediatric IgA nephropathy.	Am J Nephrol. 38: 355-67, 2013
61	Hayabuchi Y	小児医学	Fibromyxoid excrescence of the aortic valve that manifested after catheterisation and required resection	Cardiology in the Young

62	Ikemoto T	消化器・移植外科	Indoleamine 2,3-dioxygenase affects the aggressiveness of intraductal papillary mucinous neoplasms through Foxp3+CD4+CD25+ T cells in peripheral blood.	Pancreas. 2013 Jan;42(1):130-4.
63	Hanaoka J	消化器・移植外科	Significance of sonic hedgehog signaling after massive hepatectomy in a rat.	SurgToday. 2013 Mar;43(3):300-7.
64	Saito Y	消化器・移植外科	The protective effect of adipose-derived stem cells against liver injury by trophic molecules.	J Surg Res. 2013 Mar;180(1):162-8.
65	Yoshikawa K	消化器・移植外科	The efficacy of PET-CT for predicting the malignant potential of gastrointestinal stromal tumors.	Surg Today. 2013 Oct;43(10):1162-7.
66	Arakawa Y	消化器・移植外科	Effects of whey peptide-based enteral formula diet on liver dysfunction following living donor liver transplantation.	Surg Today. 2014 Jan;44(1):44-9.
67	Saito Y	消化器・移植外科	Regulatory T cells in the blood: a new marker of surgical stress.	Surg Today. 2013 Jun;43(6):608-12.
68	Ikemoto T	消化器・移植外科	Changes of immunological parameters with administration of Japanese Kampo medicine (Juzen-Taihoto/TJ-48) in patients with advanced pancreatic cancer.	Int J Clin Oncol.2014 Feb;19(1):81-6.
69	Saito Y	消化器・移植外科	Beneficial effects of green tea catechin on massive hepatectomy model in rats.	J Gastroenterol. Epub 2013 Mar 30
70	Morine Y	消化器・移植外科	Evaluation and management of hepatic injury induced by oxaliplatin-based chemotherapy in patients with hepatic resection for colorectal liver metastasis.	Hepatol Res. 2014 Jan;44(1):59-69.
71	Hanaoka J	消化器・移植外科	Beneficial effects of enteral nutrition containing with hydrolyzed whey peptide on warm ischemia/reperfusion injury in the rat liver.	Hepatol Res. 2014 Jan;44(1):114-21.
72	Morine Y	消化器・移植外科	Clinical features of pancreaticobiliary maljunction: update analysis of 2nd Japan-nationwide survey.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2013 Jun;20(5):472-80.
73	Takasu C	消化器・移植外科	Impact of C-reactive protein on prognosis of patients with coorectal carcinoma.	Hepatogastroenterology. 2013 May;60(123):507-11.
74	Utsunomiya T	消化器・移植外科	Nationwide study of 4,741 patients with non-B non-C hepatocellular carcinoma with special reference to the therapeutic impact.	Ann Surg. 2014 Feb;259(2):336-45.
75	Utsunomiya T	消化器・移植外科	Specific miRNA expression profiles of non-tumor liver tissue predict a risk for recurrence of hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res. Epub 2013 Jun 13.
76	Arakawa Y	消化器・移植外科	Oxaliplatin-related sinusoidal obstruction syndrome mimicking metastatic liver tumors.	Hepatol Res.2013 Jun;43(6):685-9.
77	Arakawa Y	消化器・移植外科	Effects of splenectomy on hepatic gene expression profiles after massive hepatectomy in rats.	J Gastroenterol Hepatol. 2013 Oct;28(10):1669-77.
78	Imura S	消化器・移植外科	Current status of laparoscopic liver surgery in Japan: results of a multicenter Japanese experience.	Surg Today.Epub 2013 Jul 26.
79	Ikemoto T	消化器・移植外科	CD11b(+) cells in donor-specific transfusion prolonged allogenic skin graft survival through indoleamine 2,3-dioxygenase.	Cell Immunol.2013 May-Jun;283(1-2):81-90.
80	Yoshikawa K	消化器・移植外科	The effect of polysaccharide k with s-1 based chemotherapy in advanced gastric cancer.	Hepatogastroenterology. 2013 Sep;60(126):1387-90
81	Iwahashi S	消化器・移植外科	Laparoscopic hepatic resection for metastatic liver tumor of colorectal cancer: comparative analysis of short- and long-term results.	Surg Endosc.2014 Jan;28(1):80-4.
82	Iwahashi S	消化器・移植外科	High expressions of cancer stem cell markers in cholangiolocellular carcinoma.	Surg Today.2013 Jun;43(6):654-60.
83	Shimada M	消化器・移植外科	One-stop shop for 3-dimensional anatomy of hepatic vasculature and bile duct with special reference to biliary image reconstruction.	Hepatogastroenterology. 2013 Nov-Dec;60(128):1861-4.



84	Takasu C	消化器・移植外科	Benefits of simultaneous laparoscopic resection of primary colorectal cancer and liver metastases.	Asian J Endosc Surg. 2014 Jan;7(1):31-7.
85	Yoshikawa K	消化器・移植外科	Effect of Kampo medicine "Dai-kenchu-to" on microbiome in the intestine of the rats with fast stress.	J Med Invest. 2013;60(3-4):221-7.
86	Saito Y	消化器・移植外科	Hepatic epithelioid angiomyolipoma with arterioportal venous shunting mimicking hepatocellular carcinoma : report of a case.	J Med Invest. 2013;60(3-4):262-6.
87	Ishikawa D	消化器・移植外科	Atypically large well-differentiated hepatocellular carcinoma with extensive fatty metamorphosis: report of a case.	J Med Invest. 2013;60(3-4):267-71.
88	Sugimoto K	消化器・移植外科	Hand-assisted laparoscopic splenectomy for a huge splenic vascular lesion with aneurysms in a patient with impending Kasabach-Merritt syndrome-like phenomenon.	J Med Invest.2013;60(3-4):276-9.
89	Yamada S	消化器・移植外科	CXC receptor 4 and stromal cell-derived factor 1 in primary tumors and liver metastases of colorectal cancer.	J Surg Res. Epub 2013 Oct 21.
90	Yamada S	消化器・移植外科	Trophic effect of adipose tissue-derived stem cells on porcine islet cells.	J Surg Res. Epub 2013 Oct 21
91	Yoshikawa K	消化器・移植外科	Characteristics of internal hernia after gastrectomy with Roux-en-Y reconstruction for gastric cancer.	Surg Endosc. Epub 2014 Jan 8.
92	Imura S	消化器・移植外科	Clinicopathological characteristics of patients with non-B non-C hepatocellular carcinoma: a special reference to metabolic syndrome.	Hepatogastroenterology. 2014 Jan-Feb;61(129):129-35.
93	Yoshida M	呼吸器外科	Pemphigus with thymoma improved by thymectomy: report of a case.	Surg Today 43(7): 806-808, 2013
94	Toba H	呼吸器外科	Fluoroscopy-assisted thoracoscopic resection after computed tomography-guided bronchoscopic metallic coil marking for small peripheral pulmonary lesions.	Eur J Cardiothorac Surg 44(2): e126-32, 2013
95	Toba H	呼吸器外科	<sup>18</sup> F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography and the relationship between fluorodeoxyglucose uptake and the expression of hypoxia-inducible factor-1alpha, glucose transporter-1 and vascular endothelial growth factor in thymic epithelial tumours.	Eur J Cardiothorac Surg. 2013 Aug;44(2):e105-12.
96	Yoshida M	呼吸器外科	Alteration of the oral environment in patients undergoing esophagectomy during the perioperative period.	J Appl Oral Sci 21(2):183-9, 2013.
97	Yoshida M	呼吸器外科	Thoracoscopic pericardial fenestration for effective long-term management of non-tuberculous mycobacterium pericarditis.	Gen Thoracic Carrdiovasc Surg 2013 Jun 27. [Epub ahead of print]
98	Tonogai I	整形外科	Evaluation of the first metacarpal proximal facet inclination as a prognostic predictor following arthroplasty for osteoarthritis of the thumb carpometacarpal joint.	Hand Surg.18(1):69-72,2013
99	Tonogai I	整形外科	A massive chondroblastoma in the proximal humerus simulating malignant bone tumors.	Case Rep Orthop.Epub 2013Mar25
100	Higashino K	整形外科	Early changes in muscle atrophy and muscle fiber type conversion after spinal cord transection and peripheral nerve transection in rats.	J Neuroeng Rehabil.2013May20
101	Hamada D	整形外科	Navigation-assisted total knee arthroplasty for osteoarthritis with extra-articular femoral deformity and/or retained hardware.	Case Rep Orthop.2013Sep24

102	Goda Y	整形外科	Analysis of MRI signal changes in the adjacent pedicle of adolescent patients with fresh lumbar spondylolysis.	Eur Spine J.2014Feb28
103	Sakai T	整形外科	Diffusion-weighted imaging and diffusion tensor imaging of asymptomatic lumbar disc herniation.	J Med Invest. 61 (1-2) : 197-203,2014
104	Matsuura T	整形外科	Elbow injuries in youth baseball players without prior elbow pain : a one-year prospective study.	Orthopaedic Journal of Sports Medicine, Vol.1, No.Oct, pp.1-5, 2013.
105	Tezuka F	整形外科	Complete resolution of a case of calcific tendinitis of the longus colli with conservative treatment.	Asian Spine J.in press
106	Sairyo K	整形外科	Percutaneous Endoscopic Discectomy and Thermal Annuloplasty for Professional Athletes.	Asian J Endosc Surg. 6(4):292-297,2013
107	Kurobe H	心臓血管外科	Azelnidipine suppresses the progression of aortic aneurysm in wild mice model through anti-inflammatory effects	J Thorac Cardiovasc Surg,146(6),1501-1508,2013
108	Kurobe H	心臓血管外科	Protective effects of selective mineralocorticoid receptor antagonist against aortic aneurysm progression in a novel murine model	J Surg Res,185(1),455-462,2013
109	Kitagawa T	心臓血管外科	Techniques and results in the management of multiple muscular trabecular ventricular septal defects	Gen Thorac Cardiovasc Surg,61(7),367-375,2013
110	Kurobe H	心臓血管外科	Role of macrophage-derived hypoxia-inducible factor (HIF)-1alpha as a mediator of vascular remodelling	Cardiovasc Res,99(4),705-715,2013
111	Kinoshita H	心臓血管外科	Iliac access conduit facilitates endovascular aortic aneurysm repair and ipsilateral iliofemoral bypass.	J Med Invest,61(1-2),204-207,2014
112	Murao K	皮膚科	Improvement of palmoplantar pustulosis lesions after angioplasty for Leriche syndrome	Australas J Dermatol, 54・3, e80-81, 2013
113	Murao K	皮膚科	Woolly hair nevus associated with digital abnormalities and auditory disturbance	Int J Dermatol, 53・3, e164-166, 2014
114	Murao K	皮膚科	Bowen disease of the palm associated with human papillomavirus 52	Clin Exp Dermatol, 38・5, 489-490, 2013
115	Murao K	皮膚科	A case of lichen planus significantly improved after topical heparinoid treatment	Australas J Dermatol, 54・3, 236-237, 2013
116	Murao K	皮膚科	Woolly hair nevus: neonatal alopecia can be an initial manifestation	Int J Dermatol, 52・12, 1588-1589, 2013
117	Kubo Y	皮膚科	Molecular tumorigenesis of the skin	J Med Invest, 61・1,2, 7-14, 2014
118	Fukumori T	泌尿器科	Editorial comment to salvage intensity modulated radiotherapy using endorectal balloon after radical prostatectomy: clinical outcomes.	Int J Urol. 2013; 20 (12): 1183.
119	Tomoteru Kishimoto	泌尿器科	Mineralocorticoid receptor expression in human penile corpus cavernosum	The Journal of Medical Investigation. 2013; 60 (1-2): 21-6.
120	MASAYUKI TAKAHASHI	泌尿器科	Substitution of anti-androgens and tegafur-uracil combination therapy for castration-resistant prostate cancer:Result of a multi-center randomized phase II study	INTERNATIONAL JOURNAL OF ONCOLOGY. 2013. 43 (3): 713-20.
121	Mitamura Y	眼科	Photoreceptor impairment and restoration on optical coherence tomographic image	J Ophthalmol 2013;2013:518170
122	Eguchi H	眼科	Infectious conjunctivitis caused by Pseudomonas aeruginosa isolated from a bathroom	BMC Res Notes 2013 Jul 1;6:245
123	Katome T	眼科	Swept-source optical coherence tomography identifies connection between vitreous cavity and retrobulbar subarachnoid space in patient with optic disc pit	Eye 27:1325-1326,2013

124	Miyamoto T	眼科	MRSA keratitis after Descemet's stripping automated endothelial keratoplasty	Case Report Ophthalmol 4:269-273,2013
125	Egawa M	眼科	Spectral-domain optical coherence tomographic and fundus autofluorescence findings in eyes with primary intraocular lymphoma	Clin Ophthalmol 8:335-341,2014
126	Egawa M	眼科	Changes of fundus autofluorescence and spectral-domain optical coherence tomographic findings after treatment of primary intraocular lymphoma	J Ophthalmic Inflamm Infect 4:7,2014 doi: 10.1186/1869-5760-4-7
127	I. Chida	耳鼻咽喉科	Clinical outcomes of tracheoesophageal diversion and laryngotracheal separation in neurologically impaired children	Auris Nasus Larynx 40: 383-387, 2013.
128	G. Sato	耳鼻咽喉科	Risk factors for poor outcome of a single Epley maneuver and residual positional vertigo in patients with benign paroxysmal positional vertigo	Acta Otolaryngol. 133: 1124-1127, 2013.
129	Morita N	放射線科	Frequency of emerging positive diffusion-weighted imaging in early repeat examinations at least 24 h after transient ischemic attacks.	Neuroradiology. Vol.55, No4, P399-403, 2013
130	Yoichi Otomi	放射線科	<sup>18</sup> F-2-fluoro-2-deoxyglucose uptake in or adjacent to blood vessel walls	The Journal of Medical Investigation, Vol.60 No.1,2 P15-20, 2013
131	Takeuchi M	放射線科	Preliminary observations and clinical value of lipid peak in high-grade uterine sarcomas using in vivo proton MR spectroscopy.	Eur Radiol. Vol23, No9, P2358-2363, 2013
132	Sasaki M	放射線科	A comparison of four commercial radiation treatment planning systems for prostate intensity modulated radiation therapy.	Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi Vol.69, No7, P761-72, 2013
133	Takeuchi M	放射線科	In vivo proton MR spectroscopy in uterine abscesses.	J Magn Reson Imaging Vol.38, No.4 ,P955-957, 2013
134	Mayumi TAKEUCHI	放射線科	Clear Cell Adenocarcinoma Arising from Clear Cell Adenofibroma of the Ovary: Value of DWI and DCE-MRI	Magnetic Resonance in Medical Sciences Vol12 ,No4, p305-308, 2013
135	Hayato Nose	放射線科	Correlations between F-18 FDG PET/CT and pathological findings in soft tissue lesions	The Journal of Medical Investigation Vol.60, No.3.4, P184-190, 2013
136	Sasaki M	放射線科	Clinical evaluation of automatic contours for head and neck region using deformable image registration software	Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi Vol69, No.11, P1250-1260, 2013
137	Harada M.	放射線科	Cutting-edge of advanced MRI for demyelinating diseases.	Keio J Med Vol53, No11,P1094-1096, 2013
138	Yamada K	放射線科	Development of a batched image delete system for multi-vender picture archiving and communication system environment	Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi Vol70, No1, P19-25, 2014
139	Hayato Nose	放射線科	The physiological uptake pattern of <sup>18</sup> F-FDG in the left ventricular myocardium of patients without heart disease	The Journal of Medical Investigation Vol.61, No1,2, P53-64, 2014
140	Yoichi Otomi	放射線科	Comparing the performance of visual estimation and standard uptake value of F-18 fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography for detecting malignancy in pancreatic tumors other than invasive ductal carcinoma	The Journal of Medical Investigation Vol.61, No.1.2 P171-179, 2014
141	Tani A	産科婦人科	Different circulating levels of monocyte chemoattractant protein-1 and interleukin-8 during the menopausal transition.	Cytokine. 62(1):86-90, 2013
142	Matsui S	産科婦人科	Difference in the ratio of high-molecular weight (HMW) to total adiponectin and HMW adiponectin in late post-menopausal women.	J Endocrinol Invest. 36(11):982-5, 2013
143	Matsui S	産科婦人科	Associations of estrogen and testosterone with insulin resistance in pre- and postmenopausal women with and without hormone therapy.	Int J Endocrinol Metab. 11(2):65-70, 2013
144	Iwasa T	産科婦人科	Changes in central and peripheral inflammatory responses to lipopolysaccharide in ovariectomized female rats.	Cytokine. 65(1):65-73, 2014

145	Iwasa T	産科婦人科	Developmental changes in the responsiveness of hypothalamic ER alpha mRNA levels to food deprivation.	Neuro Endocrinol Lett. 34(6):543-8, 2013
146	Matsui S	産科婦人科	High adiponectin level in late postmenopausal women with normal renal function.	Clin Chim Acta. 430: 104-8, 2014
147	Tani A	産科婦人科	Circulating levels of monocyte chemoattractant protein-1 and interleukin-7 in women who have undergone bilateral salpingo-oophorectomy.	J Inflamm Res. 27 87) 1-7, 2013
148	Nishimura M	産科婦人科	Therapeutic synergy between microRNA and siRNA in ovarian cancer treatment	Cancer Discov. 3(11):1302-15, 2013
149	Keisuke Kashiwagi	形成外科	Quantitative analysis of hemodynamics of congested island flaps under leech therapy	J Med Invest, 60(3-4):213-20, 2013
150	I.Hashimoto	形成外科	Developmental mechanism of juvenile coccygeal fibrosis (so-called coccygeal pad).	J.Dermatol, 40 (10), 832-836, 2013
151	Y.Abe	形成外科	Transcutaneous PCO <sub>2</sub> Measurement at Low Temperature for Reliable and Continuous Free Flap Monitoring : Experimental and Clinical Study	Plast.Reconstr.Surg.Glob. Open, 1(2), e16-e23, 2013
152	YUTARO YAMASHITA	形成外科	Two-Stage Surgery for Hidradenitis Suppurativa: Staged Artificial Dermis and Skin Grafting	Dermatol Surg, Feb;40(2):110-5, 2014
153	Hiroataka Sugino	形成外科	Relation between the serum albumin level and nutrition supply in patients with pressure ulcers: retrospective study in an acute care setting	J Med Invest., 61(1-2):15-21, 2014
154	Yutaro YAMASHITA	形成外科	Effect of the biopsy technique on the survival rate of malignant melanoma patients	Arch Plast Surg. Mar;41(2):122-5, 2014
155	S.Matsuo	形成外科	Extended Hair-bearing Lateral Orbital Flap for Simultaneous Reconstruction of Eyebrow and Eyelid	Plast.Reconstr.Surg.Glob. Open, 2 (2), e111-e115, 2014
156	Shinji Kawahito	麻酔科	Novel blood sampling method of an artificial endocrine pancreas via the cardiopulmonary bypass circuit.	Journal of Artificial Organs 16(4):508-509,2013
157	Katsuyoshi Kume	麻酔科	A case of placenta percreta with massive hemorrhage during cesarean section.	The Journal of Medical Investigation 61(1,2):208-212, 2014
158	Nami Kakuta	手術部	Usefulness of central venous oxygen saturation monitoring during bidirectional Glenn Shunt.	The Journal of Medical Investigation 60(3,4):272-275, 2013
159	Yusuke Chikata	救急集中治療部	Temperature of gas delivered from ventilators	J Intensive Care 2013; 1:6.
160	Hisakazu Kohata	救急集中治療部	A novel method of post-pyloric feeding tube placement at bedside	J Crit Care 2013; 28:1039-41.
161	Jun Oto	救急集中治療部	Continuous positive airway pressure and ventilation are more effective with a nasal mask than a full face mask in unconscious subjects: a randomized controlled trial.	Crit Care. 2013 Dec 23;17(6):R300.
162	Jun Oto	救急集中治療部	A comparison of leak compensation in acute care ventilators during noninvasive and invasive ventilation: a lung model study.	Respir Care. 2013 Dec;58(12):2027-37.
163	Emiko Nakataki	救急集中治療部	Incidence of bacterial contamination in infusion set needles:	Am J Infect Control 41:273-4, 2013.
164	Chikata Y	救急集中治療部	Humidification performance of humidifying devices for tracheostomized patients with spontaneous breathing: a bench study.	Respir Care 2013; 58(9):1442-1448.
165	Chida J	救急集中治療部	Blood lactate/ATP ratio, as an alarm index and real-time biomarker in critical illness.	PLOS One 2013; 8:e60561
166	Tani K	総合診療医学分野	Community-based clinical education increases motivation of medical students to medicine of remote area -comparison between lecture and practice-	J Med Invest 61(1,2)156-161,2014
167	Okada N	薬剤部	Identification of the Risk Factors Associated with Hypocalcemia Induced by Denosumab	Biological and Pharmaceutical Bulletin, Vol.36, No.10, pp.1622-
168	Ikeda Y	薬剤部	Bovine milk-derived lactoferrin exerts proangiogenic effects in an Src-Akt-eNOS-dependent manner in response to ischemia	J Cardiovasc Pharmacol, Vol.61, No.5, pp.423-429, 2013

169	Ikeda Y	薬剂部	Dietary iron restriction inhibits progression of diabetic nephropathy in db/db mice.	Am J Physiol Renal Physiol, Vol.304, No.7, pp.F1028-F1036, 2013
170	Abe S	薬剂部	A novel targeting therapy of malignant mesothelioma using anti-podoplanin antibody	J Immunol, vol.190, No.12, pp.6239-6249, 2013
171	Ishizawa K	薬剂部	Nitrosonefedipine ameliorates the progression of type 2 diabetic nephropathy by exerting antioxidative effects.	PLoS One, Vol.9, No.1, p.e86335, 2014
172	Ikeda Y	薬剂部	Iron chelation by deferoxamine prevents renal interstitial fibrosis in mice with unilateral ureteral obstruction.	PLoS One, Vol.9, No.2, p.e89355, 2014
173	Hamada Y	栄養部	Effect of the menstrual cycle on serum diamine oxidase levels in healthy women.	Clin Biochem: 46(1-2):99-102: 2013
174	Takeda E	栄養部	Increasing dietary phosphorus intake from food additives: potential for negative impact on bone health.	Adv Nutr: 5(1):92-7: 2014
175	Mawatari K	栄養部	Enhancement of endothelial function inhibits left atrial thrombi development in an animal model of spontaneous left atrial thrombosis.	Circ J: 78(8):1980-8: 2014
176	Hosokawa Y	歯科(第一保存科)	(-)-Epigallocatechin-3-gallate inhibits CC chemokine ligand 11 production in human gingival fibroblasts	Cellular Physiology and Biochemistry 31(6):960-967. 2013
177	Hosokawa Y	歯科(第一保存科)	TLR3 agonist enhances CC chemokine ligand 20 production in IL-1beta-stimulated human gingival fibroblasts	Cellular Immunology 283(1-2): 8-11, 2013
178	Fukumoto	歯科(第二保存科)	Association of gingival recession and other factors with the presence of dentin hypersensitivity.	Odontology 102: 42-49, 2014.
179	Bando	歯科(第二保存科)	Mechanism of interleukin-1alpha transcriptional regulation of S100A9 in a human epidermal keratinocyte cell line.	BBA - Gene Regulatory Mechanisms 1829: 954-962, 2013.
180	Nakajima	歯科(第二保存科)	Advanced glycation end-products enhance calcification in cultured rat dental pulp cells	J Endodontics 39(7): 873-878, 2013.
181	Ninomiya	歯科(第二保存科)	Successful case of periodontal tissue recovery by fibroblast growth factor-2 -Long-term follow-up and comparison with enamel matrix derivative-	Clin Adv Periodontics 3(4): 215-221, 2013.
182	Yoshihito Naito	歯科(第一補綴科)	Recording of individual identification information on dental prostheses using fluorescent material and UV-LED	International Journal of Prosthodontics 26(2),172-174,2013
183	Yoshihito Naito	歯科(第一補綴科)	Formability and mechanical properties of porous titanium produced by a moldless process	J Biomed Mater Res B Appl Biomater 101(6),1090-1094,2013
184	Suito H	歯科(第一補綴科)	Oral factors affecting titanium elution and corrosion: an in vitro study using simulated body fluid	PLoS One 8(6),e66052,2013
185	Yoshihito Naito	歯科(第一補綴科)	The effect of simvastatin-loaded polymeric microspheres in a critical size bone defect in the rabbit calvaria	International Journal of Pharmaceutics 30;461(1-2),157-62,2014
186	Ueda M	歯科(第二補綴科)	A short-term treatment with tumor necrosis factor-alpha enhances stem cell phenotype of human dental pulp cells	Stem Cell Res Ther. 28;5(1):31-41, 2013
187	Yuasa H	歯科(第二補綴科)	Primary treatment of temporomandibular disorders: The Japanese Society for the temporomandibular joint evidence-based clinical practice guidelines, 2nd edition	Japanese Dental Science Review, 49(3) : 89-98, 2013
188	Yoshitaka Suzuki	歯科(第二補綴科)	Mandibular movement during sleep bruxism - Mandibular position with peak masseter muscle activity-	Journal of Japan Association of Oral Rehabilitation 26(1):35-42, 2013
189	Kani K	歯科口腔外科(口腔内科)	gamma-tocotrienol enhances the chemosensitivity of human oral cancer cells to docetaxel through the downregulation of the expression of NF-KB-regulated anti-apoptotic gene products	International Journal of Oncology 42: 75-82 2013

190	Momota Y	歯科口腔外科 (口腔内科)	Frequency Analysis of Heart Rate Variability: A Useful Assessment Tool of Linearly Polarized Near-Infrared Irradiation to Stellate Ganglion Area for Burning Mouth Syndrome	Pain Medicine 14(3): 351-357, 2013
191	Aota K	歯科口腔外科 (口腔内科)	Targeting TNF- $\alpha$ suppresses the production of MMP-9 in human salivary gland cells	Arch Oral Biol 58(12) 1761-1768 2013
192	Momota Y	歯科口腔外科 (口腔内科)	Adrenergic Urticaria and Glossalgia Induced by Stress during Dental Therapy and Monitored by Heart Rate Variability Analysis: A Case Report	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 25: 264-266 2013
193	Uchida D	歯科口腔外科 (口腔外科)	Expression and function of CXCR4 in human salivary gland cancers.	Clin Exp Metastasis 30(2):133-142, 2013
194	Tamatani T	歯科口腔外科 (口腔外科)	Bortezomib-enhanced radiosensitization through the suppression of radiation-induced nuclear factor- $\kappa$ B activity in human oral cancer cells.	Int J Oncol 42(3):935-944, 2013.
195	Ohe G	歯科口腔外科 (口腔外科)	Effect of soluble factors derived from oral cancer cells on the production of interferon- $\gamma$ from peripheral blood mononuclear cells following stimulation with OK-432	Oncol Rep 30(2):945-951, 2013.
196	Kuribayashi N	歯科口腔外科 (口腔外科)	The role of metabotropic glutamate receptor 5 on the stromal cell-derived factor-1/CXCR4 system in oral cancer.	PLoS One 8(11):e80773, 2013.
197	Takaishi K	歯科口腔外科 (歯科麻酔科)	Increase in prominence of electrocardiographic J waves after a single dose of propofol in a patient with early ventricular repolarisation.	Anaesthesia 69(2): 170-175, 2014
198	Kakuta N	歯科口腔外科 (歯科麻酔科)	Usefulness of central venous oxygen saturation monitoring during bidirectional Glenn shunt.	The Journal of Medical Investigation 60(3, 4): 272-275, 2013
199	Watanabe T	矯正歯科	Inhibition of transforming growth factor beta1/Smad3 signaling decreases hypoxia-inducible factor-1 $\alpha$ protein stability by inducing prolyl hydroxylase 2 expression in human periodontal ligament cells.	Journal of Periodontology 84(9): 1346-1352, 2013
200	Nagata K	矯正歯科	Ultrasound modulates the inflammatory response and promotes muscle regeneration in injured muscles.	Annals of Biomedical Engineering 41(6): 1095-1105, 2013
201	Abe S	矯正歯科	Stress analysis in human temporomandibular joint affected by anterior disc displacement during prolonged clenching.	Journal of Oral Rehabilitation 40(4):239-246, 2013
202	Yoneda N	矯正歯科	Down-regulation of Smad3 gene accelerates palatal wound repair.	Journal of Dental Research 92(8): 716-720, 2013
203	Kawakami E	矯正歯科	Local applications of myostatin-siRNA with atelocollagen increase skeletal muscle mass and recovery of muscle function.	PLoS One 8(5): e64719, 2013
204	Horiuchi S	矯正歯科	Fabrication of zinc-releasing biocement combining zinc calcium phosphate to calcium phosphate cement.	Journal of the Mechanical Behavior of Biomedical Materials 29:151-160,
205	Hiroshi Nakagawa	小児歯科	Four Possible Itching Pathways Related to the TRPV1 Channel, Histamine, PAR-2 and Serotonin.	The Malaysian Journal of Medical Science 2013 Jul;20(4):5-12.
206	Abe Susumu	総合歯科診療部	Sleep bruxism and oromandibular myoclonus in rapid eye movement sleep behavior disorder: a preliminary report	Sleep Medicine 14(10), 1024-1030, 2013
207	Shimizu Yuuji	総合歯科診療部	Durability of Bond Strength Between Titanium and two PMMAs, Research & Reviews	A Journal of Dentistry Vol4, No.2, 8-14, 2013
208	Abe Susumu	総合歯科診療部	Rem Sleep behavior disorder patients: a case control study Sleep bruxism and masseter muscle activity during rem sleep	Sleep Medicine Clinics Vol1 14S, 54-55, 2014

計 208

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限定されること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。
- 5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Hirata Y, Kurobe H, Uematsu E, Yagi S, Soeki T, Yamada H, Fukuda D, Shimabukuro M, Nakayama M, Matsumoto K, Sakai Y, Kitagawa T, Sata M.	循環器内科	Beneficial effect of a synthetic prostacyclin agonist, ONO-1301, in rat autoimmune myocarditis model.	Eur J Pharmacol. 2013;699(1-3):81-87
2	Hirata Y, Kurobe H, Nishio C, Tanaka K, Fukuda D, Uematsu E, Nishimoto S, Soeki T, Harada N, Sakaue H, Kitagawa T, Shimabukuro M, Nakaya Y, Sata M.	循環器内科	Exendin-4, a glucagon-like peptide-1 receptor agonist, attenuates neointimal hyperplasia after vascular injury.	Eur J Pharmacol. 2013;699(1-3):106-111
3	Fukuda Y, Soeki T, Sata M.	循環器内科	A novel doppler echocardiographic index integrating left and right ventricular function is superior to conventional indices for predicting adverse outcome of acute myocardial infarction.	J Med Invest. 2013;60(1-2):97-105
4	Tanaka K, Sata M.	循環器内科	Blockade of cytidine triphosphate synthase regulates smooth muscle cell and endothelial cell proliferation differentially.	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2013;33(10):2286-2287
5	Sumi M, Tateishi N, Shibata H, Ohki T, Sata M.	循環器内科	Quercetin glucosides promote ischemia-induced angiogenesis, but do not promote tumor growth.	Life Sciences. 2013;93(22):814-819
6	Higashikuni Y, Tanaka K, Kato M, Nureki O, Hirata Y, Nagai R, Komuro I, Sata M.	循環器内科	Toll-like receptor-2 mediates adaptive cardiac hypertrophy in response to pressure overload through interleukin-1beta upregulation via nuclear factor kappaB activation.	J Am Heart Assoc. 2013;2(6):e000267
7	Hirata Y, Kurobe H, Higashida M, Fukuda D, Shimabukuro M, Higashikuni Y, Kitagawa T, Sata M.	循環器内科	HMGB1 plays a critical role in vascular inflammation and lesion formation via toll-like receptor 9.	Atherosclerosis. 2013;231(2):227-233
8	Tomita N, Yamada H, Nishio S, Tamai R, Kusunose K, Hayashi S, Hotchi J, Sata M.	循環器内科	Patent foramen ovale diagnosed by real-time three-dimensional contrast transesophageal echocardiography: A case report.	JC Cases. 2013;7(4):e91-92

9	Takumi Sakurada, Keisuke Ishizawa, Masaki Imanishi, Yuki Izawa-Ishizawa, Shoko Fuji, Erika Tominaga, Teppei Tsuneishi, Yuuya Horinouchi, Yoshitaka Kihira, Yasumasa Ikeda, Shuhei Tomita, Ken-ichi Aihara, Kazuo Minakuchi, Koichiro Tsuchiya, Toshiaki Tamaki	生体情報内科学	Nitrosonifedipine ameliorates angiotensin II-induced vascular remodeling via antioxidative effects	Naunyn Schmiedebergs Arch Pharmacol 386(1):29-39 2013
10	Yoko Yamamoto, Tatsuya Yoshizawa, Toru Fukuda, Yuko Shirode-Fukuda, Taiyong Yu, Keisuke Sekine, Takashi Sato, Hirotaka Kawano, Ken- ichi Aihara, Yuko Nakamichi, Tomoyuki Watanabe, Masayo Shindo, Kazuki Inoue, Erina Inoue, Naoya Tsuji, Maiko Hoshino, Gerard Karsenty, Daniel Metzger, Pierre Chambon, Shigeaki Kato, Yuuki Imai	生体情報内科学	Vitamin D receptor in osteoblasts is a negative regulator of bone mass control	Endocrinology 154(3):1008- 20 2013
11	Kuriwaka-Kido R	生体情報内科学	Parathyroid hormone (1-34) counteracts the suppression of interleukin-11 expression by glucocorticoid in murine osteoblasts: a possible mechanism for stimulating osteoblast differentiation against glucocorticoid excess	Endocrinology 154(3):1156-67 2013
12	Shuji Kato	生体情報内科学	Serum carboxy-terminal telopeptide of type I collagen (ICTP) as a surrogate marker for vulnerable plaques in atherosclerotic patients: A pilot study	Atherosclerosis 229(1):182-5 2013
13	Umeno A, Shichiri M, Ishida N, Hashimoto Y, Abe K, Kataoka M, Yoshino K, Hagihara Y, Aki N, Funaki M, Asada Y, Yoshida Y.	糖尿病対策センター	Singlet oxygen induced products of linoleates, 10- and 12-(Z,E)-hydroxyoctadecadienoic acids (HODE), can be potential biomarkers for early detection of type 2 diabetes.	PLoS ONE 8(5):e63542 2013
14	Miyashita K, Yasuda T, Kaneto H, Kuroda A, Kitamura T, Otsuki M, Okamoto Y, Hamada N, Matsuhisa M, Shimomura I	生体情報内科学	A case of hypocalcemia with severe vitamin D deficiency following treatment for grave's disease with methimazole	Case Rep Endocrinol 512671 2013
15	Parker-Duffen JL, Nakamura K, Silver M, Kikuchi R, Tigges U, Yoshida S, Denzel MS, Ranscht B, Walsh K	生体情報内科学	T-cadherin is essential for adiponectin-mediated revascularization	J Biol Chem 288(34):24886-97 2013
16	Kurozumi A, Aihara K, Fujinaka Y, Yoshida S, Ooguro Y, Kurahashi K, Kondo T, Aki N, Kuroda A, Endo I, Matsuhisa M, Matsumoto T	生体情報内科学	Extrapyramidal symptoms and advanced calcification of the Basal Ganglia in a patient with autosomal dominant hypocalcemia.	Intern Med ;52(18):2077- 81 2013



17	Watanabe T, Mitsunashi M, Sagawa M, Ri M, Suzuki K, Abe M, Ohmachi K, Nakagawa Y, Nakamura S, Chosa M, Iida S, and Kizaki M	生体情報内科学	Phytohemagglutinin-induced IL2 mRNA in whole blood can predict bortezomib-induced peripheral neuropathy for multiple myeloma patients	Blood Cancer Journal 3:e150 2013
18	Jambaldorj B, Terada E, Hosaka T, Kishuku Y, Tomioka Y, Iwashima K, Hirata Y, Teshigawara K, Thi Kim Le C, Nakagawa T, Harada N, Sakai T, Sakaue H, Matsumoto T, Funaki M, Takahashi A, Nakaya Y.	糖尿病対策センター	Cysteine string protein 1 (CSP1) modulates insulin sensitivity by attenuating glucose transporter 4 (GLUT4) vesicle docking with the plasma membrane.	J Med Invest. 60(3-4):197-204 2013
19	Okada T, Kawahito S, Mita N, Matsuhisa M, Kitahata H, Shimada M, Oshita S	生体情報内科学	Usefulness of continuous blood glucose monitoring and control for patients undergoing liver transplantation	J Med Invest 60(3-4):205-12 2013
20	Naujok O, Bandou Y, Shikama Y, Funaki M, Lenzen S.	糖尿病対策センター	Effect of substrate rigidity in tissue culture on the function of insulin-secreting INS-1E cells.	J Tissue Eng Regen Med 10.1002/term.1857 2014
21	Yoshii H, Onuma T, Yamazaki T, Watada H, Matsuhisa M, Matsumoto M, Kitagawa K, Kitakaze M, Yamasaki Y, Kawamori R	糖尿病臨床・研究開発センター	Effects of pioglitazone on macrovascular events in patients with type 2 diabetes mellitus at high risk of stroke	J Atheroscler Thoromb 21(6):563-73 2014
22	Kato K, Takamura T, Takeshita Y, Ryu Y, Misu H, Ota T, Tokuyama K, Nagasaka S, Matsuhisa M, Matsui O, Kaneto S	糖尿病臨床・研究開発センター	Ectopic fat accumulation and distant organ-specific insulin resistance in Japanese people with nonalcoholic fatty liver disease	PLoS ONE 9(3):e92170 2014
23	Sakamoto K, Kubo F, Yoshiuchi K, Ono A, Sato T, Tomita K, Sakaguchi K, Matsuhisa M, Kaneto K, Maegawa H, Nakajima H, Kashiwagi A, Kosugi K	糖尿病臨床・研究開発センター	Usefulness of a oval system for measuring glucose area under the curve while screening for glucose intolerance in outpatients	Journal of Diabetes investigation 4(6):552-9 2013
24	Hirakawa M, Sato Y, Ohnuma H, Takayama T, Sagawa T, Nobuoka T, Harada K, Miyamoto H, Sato Y, Takahashi Y, Katsuki S, Hirayama M, Takahashi M, Ono M, Maeda M, Takada K, Hayashi T, Sato T, Miyanishi K, Takimoto R, Kobune M, Hirata K, Kato J.	消化器内科	A phase II study of neoadjuvant combination chemotherapy with docetaxel, cisplatin, and S-1 for locally advanced resectable gastric cancer: nucleotide excision repair (NER) as potential chemoresistance marker.	Cancer Chemother Pharmacol. 2013;71(3):789-797

25	Takahiro Emoto, Koichi Shono, Udantha R. Abeyratne, Toshiya Okahisa, Hiromi Yano, Masatake Akutagawa, Shinsuke Konaka and Yohsuke Kinouchi	消化器内科	ARMA-based spectral bandwidth for evaluation of bowel motility by the analysis of bowel sounds.	Physiol Meas., 2013 Aug;34(8):925-936
26	Ishikawa H, Mutoh M, Suzuki S, Tokudome S, Saida Y, Abe T, Okamura S, Tajika M, Joh T, Tanaka S, Kudo SE, Matsuda T, Imuro M, Yukawa T, Takayama T, Sato Y, Lee K, Kitamura S, Mizuno M, Sano Y, Gondo N, Sugimoto K, Kusunoki M, Goto C, Matsuura N, Sakai T, Wakabayashi K.	消化器内科	The preventive effects of low-dose enteric-coated aspirin tablets on the development of colorectal Q1 tumours in Asian patients: a randomised trial.	GUT, Published Online First 31 January 2014
27	Ishiguro N, Yamamoto K, Katayama K, Kondo M, Sumida T, Mimori T, Soen S, Nagai K, Yamaguchi T, Hara M, Igratimod-Clinical Study Group (Kishi J).	呼吸器・膠原病内科	Concomitant iguratimod therapy in patients with active rheumatoid arthritis despite stable doses of methotrexate: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial.	Mod Rheumatol. 23(3):430-439, 2013.
28	Yamada T, Takeuchi S, Fujita N, Nakamura A, Wang W, Li Q, Oda M, Mitsudomi T, Yatabe Y, Sekido Y, Yoshida J, Higashiyama M, Noguchi M, Uehara H, Nishioka Y, Sone S, Yano S.	呼吸器・膠原病内科	Akt kinase-interacting protein1, a novel therapeutic target for lung cancer with EGFR-activating and gatekeeper mutations.	Oncogene. 32(37):4427-4435, 2013.
29	Matsui S, Hebisawa A, Sakai F, Yamamoto H, Terasaki Y, Kurihara Y, Waseda Y, Kawamura T, Miyashita T, Inoue H, Hata N, Masubuchi H, Sugino K, Kishi J, Kobayashi H, Usui Y, Komazaki Y, Kawabata Y, Ogura T.	呼吸器・膠原病内科	Immunoglobulin G4-related lung disease: clinicoradiological and pathological features.	Respirology.18(3):480-487, 2013.
30	Mitsuhashi A, Goto H, Kuramoto T, Tabata S, Yukishige S, Abe S, Hanibuchi M, Kakiuchi S, Saijo A, Aono Y, Uehara H, Yano S, Ledford JG, Sone S, Nishioka Y.	呼吸器・膠原病内科	Surfactant protein A suppresses lung cancer progression by regulating the polarization of tumor-associated macrophages.	Am J Pathol. 182(5):1843-1853, 2013.
31	Yuasa S, Yamaguchi H, Nakanishi Y, Kawaminami S, Tabata R, Shimizu N, Kohno M, Shimizu T, Miyata J, Nakayama M, Kishi J, Toyoda Y, Nishioka Y, Tani K.	呼吸器・膠原病内科	Treatment responses and their predictors in patients with rheumatoid arthritis treated with biological agents.	J Med Invest. 60(1-2):77-90, 2013.

32	Makino H, Aono Y, Azuma M, Kishi M, Yokota Y, Kinoshita K, Takezaki A, Kishi J, Kawano H, Ogawa H, Uehara H, Izumi K, Sone S, Nishioka Y.	呼吸器・膠原病 内科	Antifibrotic effects of CXCR4 antagonist in bleomycin-induced pulmonary fibrosis in mice.	J Med Invest. 60(1-2):127-137, 2013.
33	Kinoshita K, Aono Y, Azuma M, Kishi J, Takezaki A, Kishi M, Makino H, Okazaki H, Uehara H, Izumi K, Sone S, Nishioka Y.	呼吸器・膠原病 内科	Antifibrotic effects of focal adhesion kinase inhibitor in bleomycin-induced pulmonary fibrosis in mice.	Am J Respir Cell Mol Biol. 49(4):536-543, 2013.
34	Huang J, Tabata S, Kakiuchi S, The Van T, Goto H, Hanibuchi M, Nishioka Y.	呼吸器・膠原病 内科	Identification of pregnancy-associated plasma protein A as a migration-promoting gene in malignant pleural mesothelioma cells: a potential therapeutic target.	Oncotarget. 4(8):1172-1184, 2013.
35	Okamoto T, Miyazaki Y, Ogura T, Chida K, Kohno N, Kohno S, Taniguchi H, Akagawa S, Mochizuki Y, Yamauchi K, Takahashi H, Johkoh T, Homma S, Kishi K, Ikushima S, Konno S, Mishima M, Ohta K, Nishioka Y, Yoshimura N, Munakata M, Watanabe K, Miyashita Y, Inase N.	呼吸器・膠原病 内科	A nationwide epidemiological survey of chronic hypersensitivity pneumonitis in Japan.	Respir Investig. 51(3):191-199, 2013.
36	Honjo A, Ogawa H, Azuma M, Tezuka T, Sone S, Biragyn A, Nishioka Y.	呼吸器・膠原病 内科	Targeted reduction of CCR4+ cells is sufficient to suppress allergic inflammation.	Respir Investig. 51(4):241-249, 2013.
37	Morigaki R, Nakataki M, Kawarai T, Lee LV, Teleg RA, Tabuena MDP, Mure H, Sako W, Pasco PMD, Nagahiro S, Iga J, Ohmori T, Goto S, Kaji R	脳神経外科	Depression in X-linked dystonia-parkinsonism: A case-control study	Parkinsonism and Related Disorders(査読有), 19: 844-846, 2013
38	Tada Y, Wada K, Shimada K, Makino H, Liang EI, Murakami S, Kudo M, Kitazato KT, Nagahiro S, Hashimoto T,	脳神経外科	Roles of hypertension in the rupture of intracranial aneurysms	Stroke, 45: 579-586, 2014
39	Okazaki T, Yamamoto Y, Yoda K, Nagahiro S	脳神経外科	The ratio of D-dimer to brain natriuretic peptide may help to differentiate between cerebral infarction with and without acute aortic dissection	Journal of the Neurological Sciences, 340] 133-138, 2014
40	Matsubara S, Satoh K, Satomi J, Shigekiyo T, Kinouchi T, Miyake H, Nagahiro S	脳神経外科	Acquired pial and dural arteriovenous fistulae following superior sagittal sinus thrombosis in patients with protein S deficiency: A report of two cases	Neurol Med Chir (Tokyo), 54: 245-252, 2014

41	Tada Y, Wada K, Shimada K, Makino H, Liang EI, Murakami S, Kudo M, Shikata F, Silva RAP, Kitazato KT, Hasan DM, Kanematsu Y, Nagahiro S, Hashimoto T	脳神経外科	Estrogen protects against intracranial aneurysm rupture in ovariectomized mice	Hypertension, 63: 1339-1344, 2014
42	Etminan N, Beseoglu K, Barrow DL, Bedersonn J, Brown RD Jr, Connolly ES Jr, Derdeyn CP, H nggi D, Hasan D, Jyvela S, Kasuya H, Kirkpatrick PJ, Knuckey N, Koivisto T, Lanzino G, Lawton MT, LeRoux P, McDougall CG, Mee E, Mocco J, Molyneux A, Morgan MK, Mori K, Morita A, Murayama Y, Nagahiro S, Pasqualin A, Raabe A, Raymond J, Rinkel GJE, R fenacht D, Seifert V, Spears J, Steiger HJ, Steinmetz H, Torner JC, Vajkoczy P, Wanke I, Wong GKC, Wong JH, MacDonald RL	脳神経外科	Multidisciplinary consensus on assessment of unruptured intracranial aneurysms: Proposal of an international research group	Stroke, 45: 1523-1530, 2014
43	Miyamoto S, Miyamoto S, Yoshimoto T, Hashimoto N, Okada Y, Tsuji, I, Tominaga T, Nakagawara J, Takahashi JC, on behalf of the JAM Trial Investigators; Yamada K, Tomata Y, Fukui T, Fukuuchi Y, Ohmoto T, Kuwabara Y, Nagata I, Ono J, Machida T, Sakakibara R, Yamane K, Okita S, Iwama T, Kaku Y, Saito N, Fukuyama H, Houkin K, Kuroda S, Yabe I, Moriwaka F, Ogawa A, Ogasawara K, Yoshida K, Fujii K, Yamada M, Sato K, Akutsu T, Yamagata S, Takeuchi S, Hayashi K, Horie N, Yamada K, Osato T, Watanabe T, Honjo K, Sako K, Nakase H, Kawaguchi S, Nismura F, Yamao J, Naritomi H, Inoue T, Abe H, Suzuki A, Ishikawa T, Akiyama Y, Suenaga T, Fujimura M, Nagahiro S, Uno M, Nishi K, Satomi J, Okada Y, Kawashima A, Yamaguchi K, Tsutsumi Y	脳神経外科	Effect of extracranial-intracranial bypass for patients with hemorrhagic moyamoya disease - Results of the Japan adult moyamoya trial-	Stroke, 45: 1415-1421, 2014

44	Kaneda Y, Ohmori T, Okahisa Y, Sumiyoshi T, Pu S, Ueoka Y, Takaki M, Nakagome K, Sora I.	精神医学	Measurement and Treatment Research to Improve Cognition in Schizophrenia Consensus Cognitive Battery: validation of the Japanese version.	Psychiatry Clin Neurosci. 67(3):182-188,2013
45	Kamijima K, Higuchi T, Ishigooka J, Ohmori T, Ozaki N, Kanba S, Kinoshita T, Koyama T; ADMIRE Study Group.	精神医学	Aripiprazole augmentation to antidepressant therapy in Japanese patients with major depressive disorder: a randomized, double-blind, placebo-controlled study (ADMIRE study).	J Affect Disord. 151(3):899-905,2013
46	Ishigooka J, Nakagome K, Ohmori T, Iwata N.	精神医学	Japan useful medication program for schizophrenia (JUMPs)-long-term study on discontinuation rate, resolution and remission, and improvement in social functioning rate associated with atypical antipsychotic medications in patients with schizophrenia.	BMC Psychiatry. 3;13:243,2013
47	Liu J, Numata S, Ikeda M, Watanabe Y, Zheng XB, Luo X, Kinoshita M, Nunokawa A, Someya T, Ohmori T, Bei JX, Chong SA, Lee J, Li Z, Liu J, Iwata N, Shi Y, Li M, Su B.	精神医学	An evaluation of association between a novel hippocampal biology related SNP (rs7294919) and schizophrenia.	PLoS One. 22:8(11):e80696,2013
48	Morigaki Y, Iga J, Kameoka N, Sumitani S, Ohmori T.	精神医学	Psychiatric symptoms in a patient with isolated adrenocorticotropin deficiency: case report and literature review.	Gen Hosp Psychiatry 36(4):449.e3-5,2014
49	Mori T, Mori K, Suzue M, Ito H, Kagami S	小児医学	Effective treatment of a 13-year-old boy with steroid-dependent ocular myasthenia gravis using tacrolimus.	Brain Dev 35(5):445-8, 2013.
50	Kobori H, Urushihara M.	小児医学	Augmented intrarenal and urinary angiotensinogen in hypertension and chronic kidney disease.	Pflugers Arch. 465: 3-12, 2013
51	Mori K, Toda Y, Ito H, Mori T, Goji A, Fujii E, Miyazaki M, Harada M, Kagami S	小児医学	A proton magnetic resonance spectroscopic study in autism spectrum disorders: amygdala and orbito-frontal cortex.	Brain Dev 35(2):139-45, 2013.
52	Sugiyama H, Yokoyama H, Sato H, Saito T, Kohda Y, Nishi S, Tsuruya K, Kiyomoto H, Iida H, Sasaki T, Higuchi M, Hattori M, Oka K, Kagami S, Kawamura T, Takeda T, Hataya H, Fukasawa Y, Fukatsu A, Morozumi K, Yoshikawa N, Shimizu A, Kitamura H, Yuzawa Y, Matsuo S, Kiyohara Y, Joh K, Nagata M, Tagushi T, Makino H	小児医学	Committee for standardization of renal Pathological diagnosis; Committee for kidney disease registry; Japanese society of nephrology: Japan renal biopsy registry and japan kidney disease registry: Committee report for 2009 and 2010.	Clin Exp Nephrol. 17(2):155-173, 2013
53	Naruse S, Hashimoto T, Mori K, Tsuda Y, Takahara M, Kagami S	小児医学	Developmental changes in facial expression recognition in Japanese school-age children.	J Med Invest 60(1-2):114-20, 2013.

54	Mori T, Mori K, Ito H, Goji A, Miyazaki M, Harada M, Kurosawa K, Kagami S.	小児医学	Age-related changes in a patient with Pelizaeus-Merzbacher disease determined by repeated 1H-magnetic resonance spectroscopy.	J Child Neurol
55	Kamiyama M, Urushihara M, Morikawa T, Konishi Y, Imanishi M, Nishiyama A, Kobori H.	小児医学	Oxidative stress/angiotensinogen/renin-angiotensin system axis in patients with diabetic nephropathy.	Int J Mol Sci. 14: 23045-62, 2013
56	Kishi N, Suga K, Matsuura S, Kinoshita Y, Urushihara M, Kondo S, Kitano E, Hatanaka M, Kitamura H, Sato T, Maeda A, Kagami S.	小児医学	A case of infantile systemic lupus erythematosus with severe lupus nephritis and EBV infection.	CEN Case Rep 2:190-193, 2013
57	Kasahara Y, Kawai M, Tsuji I, Tohno E, Yokoe T, Irahara M, Tangoku A, Ohuchi N	食道・乳腺甲状腺外科	Harms of screening mammography for breast cancer in Japanese women.	Breast Cancer 20(4); 310-5, 2013
58	Minato T, Yamamoto Y, Seike J, Yoshida T, Yamai H, Takechi H, Yuasa Y, Furukita Y, Goto M, Bando Y, Tangoku A	食道・乳腺甲状腺外科/呼吸器外科	Aldehyde dehydrogenase 1 expression is associated with poor prognosis in patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Ann Surg Oncol. 2013 Jan;20(1):209-17
59	Inoue S, Takizawa H, Yamamoto Y, Tangoku A.	食道・乳腺甲状腺外科/呼吸器外科	Therapeutic hypothermia for severe cerebral air embolism complicating pleural lavage for empyema.	Interact Cardiovasc Thorac Surg 17(1): 199-201, 2013
60	Narmisheekh Khasag	呼吸器外科	Monitoring of exhaled carbon monoxide and carbon dioxide during lung cancer operation	Eur J Cardiothorac Surg, 2013, Aug 2
61	Wenxi Gao	呼吸器外科	alpha1-Antitrypsin inhibits ischemia reperfusion-induced lung injury by reducing inflammatory response and cell death	J Heart Lung Transplant. 2013 Oct 25. [Epub ahead of print]
62	Mohamed Mokhtar	呼吸器外科	Methylation and expression profiles of MGMT gene in thymic epithelial tumors	Lung Cancer 83(2) : 279-287, 2013
63	Chikawa T, Sakai T, Bhatia NN, Miyagi R, Sairyo K, Goda Y, Nakamura M, Nakano S, Shimakawa T, Minato A	整形外科	Clinical outcomes of spinal surgery in patients treated with hemodialysis.	J Spinal Disord Tech.
64	Inui A, Nakano S, Yoshioka S, Goto T, Hamada D, Egawa H, Yasui N	整形外科	Subchondral cysts in displstic osteoarthritic hips communicate with the joint space. Analysis using three-dimensional CT.	Eur J Orthop Surg Traumatol.
65	Takahashi M, Sakai T, Sairyo K, Takao S, Mima S, Yasui N	整形外科	Magnetic resonance imaging in adolescent symptomatic navicular tuberosity.	J Med Invest.

66	Kawasaki Y, Takahashi M, Yasui N	整形外科	Three-dimensional computed tomography assessment and planning for severe lower limb deformities: a case report of bilateral fibular hemimelia.	Open J Orthop.
67	Hagiwara A, Mitamura Y, Kumagai K, Baba T, Yamamoto S	眼科	Photoreceptor impairment on optical coherence tomographic images in patients with retinitis pigmentosa	Br J Ophthalmol 97:237-238, 2013
68	Tatsumi T, Yamamoto S, Uehara J, Sugawara T, Baba T, Inoue M, Hata H, Mitamura Y	眼科	Panretinal photocoagulation with simultaneous cryoretinopexy or intravitreal bevacizumab for neovascular glaucoma	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 251:1355-1360, 2013
69	Nagasawa T, Mitamura Y, Katome T, Nagasato D, Tabuchi	眼科	Swept-source optical coherence tomographic findings in morning glory syndrome	Retina 34:206-208, 2014
70	Hayashi A, Cekic O, Hangai M, Mitamura Y, Weinberger AW	眼科	Multimodal imaging of the fundus	J Ophthalmol 2013;2013:956761.1
71	Nagasawa T, Mitamura Y, Katome T, Shinomiya K, Naito T, Nagasato D, Shimizu Y, Tabuchi H, Kiuchi Y	眼科	Macular choroidal thickness and volume in healthy pediatric individuals measured by swept-source optical coherence tomography	Invest Ophthalmol Vis Sci 54:7068-7074, 2013
72	Bhuyan ZA, Asanoma M, Iwata A, Ishifune C, Maekawa Y, Shimada M, Yasutomo K	眼科	Abrogation of Rbpj Attenuates Experimental Autoimmune Uveoretinitis by Inhibiting IL-22-Producing CD4+ T Cells	PLoS ONE 9:e89266, 2014
73	Kitahashi M, Baba T, Sakurai M, Yokouchi H, Kubota-Tani M, Mitamura Y, Yamamoto S	眼科	Pneumatic displacement with intravitreal bevacizumab for massive submacular hemorrhage due to polypoidal choroidal vasculopathy	Clin Ophthalmol 8:485-492, 2014
74	Hitoshi Kubo, Masafumi Harada, Minoru Sakama, Tsuyoshi Matsuda, and Hideki Otsuka	放射線科	Preliminary Observation of Dynamic Changes in Alcohol Concentration in the Human Brain with Proton Magnetic Resonance Spectroscopy on a 3T MR Instrument	Japanese Society for Magnetic Resonance in Medicine
75	T Inui, T Kwarai, K Fujita, K Kawamura, T Mitsui, A Orlacchio, M Kamada, T Abe, Y Izumi, R Kaji.	放射線科	A new CSF1R mutation presenting with an extensive white matter lesion mimicking primary progressive multiple sclerosis.	Journal of the neurological sciences
76	Terasawa Y, Yamamoto N, Morigaki R, Fujita K, Izumi Y, Satomi J, Harada M, Nagahiro S, Kaji R.	放射線科	Brush sign on 3-T T2*-weighted MRI as a potential predictor of hemorrhagic transformation after tissue plasminogen activator therapy.	Stroke
77	Yamazaki H, Matsuzawa Akiyo, Shoda T, Iguchi H, Kyushima N	放射線科	Ovarian mucinous cystic tumor of borderline malignancy with a mural nodule of anaplastic spindle cell carcinoma: a case report	Journal of Ovarian Research
78	Fujita K, Osaki Y, Harada M, Kono S, Miyajima H, Izumi Y, Kaji R.	放射線科	Brain and liver iron accumulation in aceruloplasminemia.	Neurology
79	Mungunkhuyag M, Harada M, Abe T, Fujita K, Matsui N, Kaji R.	放射線科	Longitudinal monitoring with multiple MR techniques in a case of progressive multifocal leukoencephalopathy associated with multiple myeloma.	Magn Reson Med Sci
80	Gomez D, Komaki R, Yu J, Ikushima H, Bezjak A.	放射線科	Radiation therapy definitions and reporting guidelines for thymic malignancies	Zhongguo Fei Ai Za Zhi

81	Hitoshi Kubo, Tamaki Otani, Hideki Otsuka, and Masafumi Harada	放射線科	The impact of self-shielded cyclotron operation on smallanimal PET/CT equipment installed nearby, on the floor just above	The Journal of Medical Investigation
82	Tadashi Kondo, Junji Ueno and Shoichiro Takao	放射線科	Hybrid multi-layered GMDH-type neural network using principal component regression analysis and its application to medical image diagnosis of liver cancer	Procedia Computer Science
83	Tadashi Kondo, Junji Ueno and Shoichiro Takao	放射線科	Medical image diagnosis of lung cancer by multi-layered GMDH-type neural network self-selecting functions	Artificial Life and Robotics
84	Umegaki T, Nishimura M, Tajimi K, Fushimi K, Ikai H, Imanaka Y.	救急集中治療部	An in-hospital mortality equation for mechanically ventilated patients in intensive care units.	J Anesth
85	Yamashita K, Ikai H, Nishimura M, Fushimi K, Imanaka Y.	救急集中治療部	Effect of certified training facilities for intensive care specialists on mortality in Japan.	Crit Care Resusc
86	Suyama Y, Kurimoto S, Kawazoe K, Murakami K, Sun HD, Li SL, Takaishi Y, Kashiwada Y.	薬剤部	Rigenolide A, a new secoiridoid glucoside with a cyclobutane skeleton, and three new acylated secoiridoid glucosides from <i>Gentiana rigescens</i> Franch	Fitoterapia
87	Imamura Y, Tomita S, Imanishi M, Kihira Y, Ikeda Y, Ishizawa K, Tsuchiya K, Tamaki T.	薬剤部	HIF-2 $\alpha$ /ARNT complex regulates hair development via induction of p21Waf1/Cip1 and p27Kip1.	FASEB J
88	Imanishi M, Tomita S, Ishizawa K, Kihira Y, Ueno M, Izawa-Ishizawa Y, Ikeda Y, Yamano N, Tsuchiya K, Tamaki T.	薬剤部	Smooth muscle cell-specific Hif-1 $\alpha$ deficiency suppresses angiotensin II-induced vascular remodelling in mice.	Cardiovasc Res
89	Furutani J, Segawa H, Aranami F, Kuwahara S, Sugano M, Bannai K, Yamato H, Ito M, Miyamoto K.	栄養部	Dietary inorganic phosphorus regulates the intestinal peptide transporter PepT1.	J Ren Nutr
90	Hatano R, Fujii E, Segawa H, Mukaisho K, Matsubara M, Miyamoto K, Hattori T, Sugihara H, Asano S.	栄養部	Ezrin, a membrane cytoskeletal cross-linker, is essential for the regulation of phosphate and calcium homeostasis.	Kidney Int
91	Rodriguez-Mateos A, Ishisaka A, Mawatari K, Vidal-Diez A, Spencer JP, Terao J	栄養部	Blueberry intervention improves vascular reactivity and lowers blood pressure in high-fat-, high-cholesterol-fed rats.	British Journal of Nutrition
92	Usami M, Miyoshi M, Kanbara Y, Aoyama M, Sakaki H, Shuno K, Hirata K, Takahashi M, Ueno K, Hamada Y, Tabata S, Asahara T, Nomoto K.	栄養部	Analysis of fecal microbiota, organic acids and plasma lipids in hepatic cancer patients with or without liver cirrhosis.	Clin Nutr



93	Guo J, Song L, Liu M, Segawa H, Miyamoto K, Bringhurst FR, Kronenberg HM, Jüppner H.	栄養部	Activation of a non-cAMP/PKA signaling pathway downstream of the PTH/PTHrP receptor is essential for a sustained hypophosphatemic response to PTH infusion in male mice.	Endocrinology
94	Maeda A, Okazaki M, Baron DM, Dean T, Khatri A, Mahon M, Segawa H, Abou-Samra AB, Jüppner H, Bloch KD, Potts JT Jr, Gardella TJ.	栄養部	Critical role of parathyroid hormone (PTH) receptor-1 phosphorylation in regulating acute response to PTH.	Proc Natl Acad Sci U S A.
95	Iida A1, Kemmochi Y, Kakimoto K, Tanimoto M, Mimura T, Shinozaki Y, Uemura A, Matsuo A, Matsushita M, Miyamoto K.	栄養部	Ferric citrate hydrate, a new phosphate binder, prevents the complications of secondary hyperparathyroidism and vascular calcification.	Am J Nephrol
96	Sakai T, Taki T, Nakamoto A, Shuto E, Tsutsumi R, Toshimitsu T, Makino S, Ikegami S	栄養部	Lactobacillus plantarum OLL2712 regulates glucose metabolism in C57BL/6 mice fed a high-fat diet	J Nutr Sci Vitaminol (Tokyo). 2013;59(2):144-7
97	Zhou B, Yamanaka-Okumura H, Adachi C, Kawakami Y, Inaba H, Mori Y, Katayama T, Takeda E	栄養部	Age-related variations of appetite sensations of fullness and satisfaction with different dietary energy densities in a large, free-living sample of Japanese adults.	J Acad Nutr Diet
98	Tanaka S, Yamamoto H, Nakahashi O, Kagawa T, Ishiguro M, Masuda M, Kozai M, Ikeda S, Taketani Y, Takeda E	栄養部	Dietary phosphate restriction induces hepatic lipid accumulation through dysregulation of cholesterol metabolism in mice.	Nutr Res
99	Sakai S, Lizuka N, Fujiwara M, Aoyama M, Maeshigen N, Hamada Y, Usami Y, Usami M	栄養部	Mild obesity reduces survival and adiponection sensitivity in endotoxemic rats.	J Surg Res
100	Kadomura-Ishikawa Y, Miyawaki K, Noji S, Takahashi A	栄養部	Phototropin 2 is involved in blue light-induced anthocyanin accumulation in <i>Fragaria x ananassa</i> fruits.	Journal of Plant Research
101	Kawakami Y, Yamanaka-Okumura H, Sakuma M, Mori Y, Adachi C, Matsumoto Y, Sato T, Yamamoto H, Taketani Y, Katayama T, Takeda E.	栄養部	Gene expression profiling in peripheral white blood cells in response to the intake of food with different glycemic index using a DNA microarray.	J Nutrigenet Nutrigenomics
102	Segawa H, Shiozaki Y, Minoshima S, Miyamoto K.	栄養部	Updates on rickets and osteomalacia: the role of NaPi-2c/SLC34A3 and hypophosphataemic rickets.	Clin Calcium
103	Urano E, Yamanaka-Okumura H, Teramoto A, Sugihara K, Morine Y, Imura S, Utsunomiya T, Shimada M, Takeda E	栄養部	Pre- and postoperative nutritional assessment and health-related quality of life in recipients of living donor liver transplantation.	Hepatol Res

104	Tanaka S, Yamamoto H, Nakahashi O, Ishiguro M, Takei Y, Masuda M, Kozai M, Ikeda S, Taketani Y, Miyamoto K, Takeda E.	栄養部	Tanaka S, Yamamoto H, Nakahashi O, Ishiguro M, Takei Y, Masuda M, Kozai M, Ikeda S, Taketani Y, Miyamoto K, Takeda E.	J Med Invest
105	Wanjihia VW, Ohminami H, Taketani Y, Amo K, Yamanaka-Okumura H, Yamamoto H, Takeda E	栄養部	Induction of the hepatic stearyl-CoA desaturase 1 gene in offspring after isocaloric administration of high fat sucrose diet during gestation.	J Clin Biochem Nutr
106	Nomura KI, Tatsumi S, Miyagawa A, Shiozaki Y, Sasaki S, Kaneko I, Ito M, Kido S, Segawa H, Sano M, Fukuwatari T, Shibata K, Miyamoto K.	栄養部	Hepatectomy-related hypophosphatemia: a novel phosphaturic factor in the liver-kidney axis.	J Am Soc Nephrol.
107	Wanjihia VW, Ohminami H, Taketani Y, Amo K, Yamanaka-Okumura H, Yamamoto H, Takeda E.	栄養部	Recovery pattern of non-protein respiratory quotient and non-esterified fatty acids after liver resection.	Nutrition
108	Akihiro Shirai, Mutsumi Aihara, Akira Takahashi, Hideaki Maseda, Takeshi Omasa	栄養部	Synergistic antimicrobial activity based on the combined use of a gemini-quaternary ammonium compound and ultraviolet A light.	Journal of Photochemistry and Photobiology
109	Tsutsumi R, Ohashi K, Tsutsumi YM, Horikawa YT, Minakuchi J, Minami S, Harada N, Sakaue H, Sakai T, Nakaya Y.	栄養部	Albumin-normalized serum zinc: a clinically useful parameter for detecting taste impairment in patients undergoing dialysis.	Nutr Res.
110	Ikeda S, Yamamoto H, Masuda M, Takei Y, Nakahashi O, Kozai M, Tanaka S, Nakao M, Taketani Y, Segawa H, Iwano M, Miyamoto K, Takeda E	栄養部	Downregulation of renal type IIa sodium-dependent phosphate cotransporter during lipopolysaccharide-induced acute inflammation.	Am J Physiol Renal Physiol
111	Kido S, Fujihara M, Nomura K, Sasaki S, Mukai R, Ohnishi R, Kaneko I, Segawa H, Tatsumi S, Izumi H, Kohno K, Miyamoto KI	栄養部	Molecular Mechanisms of Cadmium-Induced Fibroblast growth Factor 23 Upregulation in Osteoblast-Like Cells.	Toxicol Sci.
112	Nakahashi O, Yamamoto H, Tanaka S, Kozai M, Takei Y, Masuda M, Kaneko I, Taketani Y, Iwano M, Miyamoto K, Takeda E	栄養部	Short-term dietary phosphate restriction up-regulates ileal fibroblast growth factor 15 gene expression in mice.	J Clin Biochem Nutr
113	Kihira Y, Miyake M, Hirata M, Hoshina Y, Kato K, Shirakawa H, Sakaue H, Yamano N, Izawa-Ishizawa Y, Ishizawa K, Ikeda Y, Tsuchiya K, Tamaki T, Tomita S.	栄養部	Deletion of hypoxia-inducible factor-1alpha in adipocytes enhances glucagon-like peptide-1 secretion and reduces adipose tissue inflammation.	PLoS One

114	Zhou B, Yamanaka-Okumura H, Seki S, Tatano H, Adachi C, Takeda E.	栄養部	What influences appetite more: eating approaches or cooking methods?	J Med Invest
115	Ohnishi R, Segawa H, Ohmoto T, Sasaki S, Hanazaki A, Mori A, Ikuta K, Furutani J, Kawakami E, Tatsumi S, Hamada Y, Miyamoto K.	栄養部	Effect of dietary components on renal inorganic phosphate (Pi) excretion induced by a Pi-depleted diet.	J Med Invest.
116	Taguchi K, Yamanaka-Okumura H, Mizuno A, Nakamura T, Shimada M, Doi T, Takeda E.	栄養部	Insulin resistance as early sign of hepatic dysfunction in liver cirrhosis.	J Med Invest
117	Teramoto A, Yamanaka-Okumura H, Urano E, Nakamura-Kutsuzawa T, Sugihara K, Katayama T, Miyake H, Imura S, Utsunomiya T, Shimada M, Takeda E	栄養部	Comparison of measured and predicted energy expenditure in patients with liver cirrhosis.	Asia Pac J Clin Nutr
118	Tsutsumi R, Yoshida T, Nii Y, Okahisa N, Iwata S, Tsukayama M, Hashimoto R, Taniguchi Y, Sakaue H, Hosaka T, Shuto E, Sakai T.	栄養部	Sudachitin, a polymethoxylated flavone, improves glucose and lipid metabolism by increasing mitochondrial biogenesis in skeletal muscle.	Nutr Metab
119	Yamada F, Horie D, Nakamura A, Tanimura A, Yamamoto H, Segawa H, Ito M, Miyamoto K, Taketani Y, Takeda E.	栄養部	Role of serine 249 of ezrin in the regulation of sodium-dependent phosphate transporter NaPi-IIa activity in renal proximal tubular cells.	J Med Invest
120	Kayashita A, Yamato H, Yoshida I, Matsuzaki K, Niki H, Nagae H, Miyamoto K.	栄養部	Evaluation of 14 questions detecting malnutrition in newly hospitalized patients.	J Med Invest
121	Kido S, Kaneko I, Tatsumi S, Segawa H, Miyamoto K.	栄養部	Vitamin D and type II sodium-dependent phosphate cotransporters.	Contrib Nephrol
122	Tatsumi S1, Fujii O, Miyagawa A, Miyamoto K.	栄養部	Sodium-dependent inorganic phosphate transporters and biom mineralization	Clin Calcium.
123	Ikeda S, Yamamoto H, Masuda M, Takei Y, Nakahashi O, Kozai M, Tanaka S, Nakao M, Taketani Y, Segawa H, Iwano M, Miyamoto KI	栄養部	Down-regulation of renal type IIa sodium-dependent phosphate co-transporter during lipopolysaccharide-induced acute inflammation.	Am J Physiol Renal Physiol.

124	Atsushi Hashimoto, Kazuaki Mamatari, Yohsuke Kinouchi, Masatake Akutagawa, Naotomo Ora, Kazuyuki Nishimura, Tsuyoshi Hirata, Akira Takahashi	栄養部	Inactivation of MS2 Phage and Cryptosporidium parvum Oocysts Using UV-A from High-Intensity Light-Emitting Diode for Water Disinfection	Journal of Water and Environment Technology
125	Liu D, Zhou Y, Naito M, Yumoto H, Li Q, Miyake Y, Liang J, Shu R	歯科(第一保存科)	Draft genome sequence of Porphyromonas gingivalis strain SJD2, isolated from the periodontal pocket of a patient with periodontitis in China	Genome Announcements 2(1):e01091-13, 2014
126	Sapaar B, Nur A, Hirota K, Yumoto H, Murakami K, Amoh T, Matsuo T, Ichikawa T, Miyake Y	歯科(第一保存科)	Effects of extracellular DNA from Candida albicans and pneumonia-related pathogens on Candida biofilm formation and hyphal transformation	Journal of Applied Microbiology 116(6):1531-1542, 2014
127	Wang Y, Yumoto H, Liu D, Matsuo T, Shu R	歯科(第一保存科)	The comparison of the ability of polysaccharide from different Porphyromonas gingivalis in inducing THP-1 cells to produce cytokines	Chinese Journal of Stomatology 49(2): 78-83, 2014
128	Ito H, Numabe Y, Sekino S, Murakashi E, Iguchi H, Hashimoto S, Sasaki D, Yaegashi T, Kunimatsu K, Takai H, Mezawa M, Ogata Y, Watanabe H, Hagiwara S, Izumi Y, Hiroshima Y, Kido J, Nagata T.	歯科(第二保存科)	Evaluation of bleeding on probing and gingival crevicular fluid enzyme activity for detection of periodontally active sites during supportive periodontal therapy.	Odontology 102: 50-56 2014.
129	Abe K, Hashimoto Y, Yatsushiro S, Yamamura S, Bando M, Hiroshima Y, Kido J, Tanaka M, Shinohara Y, Ooie T, Baba Y, Kataoka M.	歯科(第二保存科)	Simultaneous immunoassay analysis of plasma IL-6 and TNF-alpha on a microchip.	PLOS ONE 8: 1-8, 2013.
130	Takafumi Kato, Taihiko Yamaguchi, Kazuo Okura, Susumu Abe, Gilles Lavigne	歯科(第二補綴科)	Sleep less and bite more: Sleep disorders associated with occlusal loads during sleep	Journal of Prosthodontic Research 57(2) : 69-81, 2013
131	Yamazaki S, Arakawa H, Maekawa K, Noda K, Hara ES, Minakuchi H, Sonoyama W, Matsuka Y, Kuboki T	歯科(第二補綴科)	A retrospective comparative 8-year study of cumulative complications in teeth adjacent to both natural and implant-supported fixed partial dentures	International Journal of Prosthodontics 268(3) : 260-264, 2013
132	Yamazaki S, Arakawa H, Maekawa K, Hara ES, Noda K, Minakuchi H, Sonoyama W, Matsuka Y, Kuboki T.	歯科(第二補綴科)	A retrospective comparative ten-year study of cumulative survival rates of remaining teeth in large edentulism treated with implant-supported fixed partial dentures or removable partial dentures	Journal of Prosthodontic Research, 57(3) : 156-161, 2013

133	Yamazaki S, Arakawa H, Maekawa K, Hara ES, Noda K, Minakuchi H, Sonoyama W, Matsuka Y, Kuboki T.	齒科(第二補綴科)	Retrospective investigation of the remaining teeth status of patients with implant-supported fixed partial dentures in unilateral free-end edentulism.	Journal of Prosthodontic Research, 57(4): 262-267, 2013
134	Fueki K, Ohkubo C, Yatabe M, Arakawa I, Arita M, Ino S, Kanamori T, Kawai Y, Kawara M, Komiyama O, Suzuki T, Nagata K, Hosoki M, Masumi S, Yamauchi M, Aita H, Ono T, Kondo H, Tamaki K, Matsuka M, Tsukasaki H, Fujisawa M, Baba K, Koyano K, Yatani H	齒科(第二補綴科)	Clinical application of removable partial dentures using thermoplastic resin-Part I: Definition and indication of non-metal clasp dentures	Journal of Prosthodontic Research, 58(1):3-10, 2013
135	Yoshikazu Nomura, Hiroshi Watanabe, Kazuya Shirotzu, Eiichi Honda, Yasunori Sumi, Tohru Kurabayashi	齒科(齒科放射線科)	Stability of voxel values from cone-beam computed tomography for dental use in evaluating bone mineral content	Clinical Oral Implants Research24(5),543-8,2013
136	Akira Takahashi, Hiroshi Watanabe, Yosuke Kamiyama, Eiichi Honda, Yasunori Sumi, Tohru Kurabayashi	齒科(齒科放射線科)	Localizing the mandibular canal on dental CT reformatted images: usefulness of panoramic views	Surg Radiol Anat, Nov;35(9):803-9,2013
137	Uyama E, Inui S, Hamada K, Honda E, Asaoka K	齒科(齒科放射線科)	Magnetic susceptibility and hardness of Au-xPt-yNb alloys for biomedical applications	Acta Biomater,9(9),8449-53,2013
138	Yoshihiro Ozaki; Hiroshi Watanabe; Yoshikazu Nomura; Eiichi Honda; Yasunori Sumi; Tohru Kurabayashi	齒科(齒科放射線科)	Location dependency of the spatial resolution of cone-beam computed tomography for dental use	Oral Surgery, Oral Medicine, Oral Pathology, Oral Radiology,116(5),648-55,2013
139	Rina Hikita, Jun J Miyamoto, Takashi Ono, Eiichi Honda, Tohru Kurabayashi, keiji Moriyama	齒科(齒科放射線科)	Activation patterns in the auditory association area involved in glottal stop perception	Journal of Oral Bioscience 55,34-39,2013
140	Ishihara Y, Kuroda S, Sumiyoshi K, Takano-Yamamoto T, Yamashiro T	矯正齒科	Extraction of the lateral incisors to treat maxillary protrusion: Quantitative evaluation of the stomatognathic functions.	The Angle Orthodontist 83(2);341-354, 2013
141	Wazen R, Kuroda S, Nishio C, Sellin K, Brunski JB, Nanci A	矯正齒科	Gene expression profiling and histomorphometric analyses of the early bone healing response around nanotextured implants.	Nanomedicine 8(9):1385-1395, 2013
142	Inubushi T, Tanaka E, Rego EB, Ohtani J, Kawazoe A, Tanne K, Miyauchi M, Takata T	矯正齒科	Low-intensity ultrasound stimulation inhibits resorption of the tooth root induced by experimental force application.	Bone 53(2):497-506, 2013
143	Ishihara Y, Kuroda S, Sugawara Y, Balam TA, Takano-Yamamoto T, Yamashiro T	矯正齒科	Indirect usage of miniscrew anchorage to intrude overerupted mandibular incisors in a Class II patient with a deep overbite.	American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics 143(4):S113-124, 2013
144	Lamela MJ, Fernandez P, Ramos A, Fernandez-Canteli A, Tanaka E	矯正齒科	Dynamic compressive properties of articular cartilages in the porcine temporomandibular joint.	Journal of the Mechanical Behavior of Biomedical Materials 23: 62-70, 2013

145	Ohnuki Y, Umeki D, Wenqian C, Kawai N, Mototani T, Shiozawa K, Fujita T, Tanaka E, Saeki Y, Okumura S	矯正歯科	Role of masseter muscle beta2-adrenergic signaling in regulation of muscle activity, myosin heavy chain transition, and hypertrophy.	Journal of Pharmacological Sciences 123(1): 36-46, 2013
146	Tomita Y, Kuroda S, Takahashi T, Ohura R, Tanaka E	矯正歯科	Orthodontic occlusal reconstruction after conservative treatment of unicystic ameloblastoma in an adolescent patient: 10-year follow-up.	American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics 144(3): 466-470, 2013
147	Murakami T, Fujii A, Kawabata Y, Takamura H, Yamaue R, Balam TA, Kuroda S, Kawanabe N, Kamioka H, Yamashiro T	矯正歯科	Relationship between orthodontic expertise and perception of treatment needs for mandibular protrusion in Japan.	Acta Medica Okayama 67(5):277-283, 2013
148	Yanagida-Suekawa T, Tanimoto K, Tanne Y, Mitsuyoshi T, Hirose N, Su S, Tanne K, Tanaka E	矯正歯科	Syntheses of hyaluronan and superficial zone protein in synovial membrane cells modulated by fluid flow	European Journal of Oral Sciences 121(6):566-572, 2013
149	Oba Y, Kuroda S, Tanaka E, Moriyama K	矯正歯科	RhoE regulates actin cytoskeleton organization in human periodontal ligament cells under mechanical stress.	Archives of Oral Biology 59(2): 187-192, 2014
150	Inubushi T, Kawazoe A, Miyauchi M, Yanagisawa S, Subarnbhesaj A, Chanbora C, Ayuningtyas NF, Ishikado A, Tanaka E, Takata T	矯正歯科	Lactoferrin inhibits inflammation-related osteoclastogenesis without interrupting compressive force-related osteoclastogenesis.	Archives of Oral Biology 59(2):226-232, 2014
151	Tanimoto K, Tanne Y, Sumi K, Hirose N, Kawai N, Tanaka E, Tanne K	矯正歯科	Longitudinal changes in the height and location of bone bridge from autogenous iliac bone graft in patients with cleft lip and palate.	Open Journal of Stomatology 3(1): 58-62, 2013
152	Kawazoe A, Inubushi T, Miyauchi M, Ishikado A, Tanaka E, Tanne K, Takata T	矯正歯科	Bovine lactoferrin controls periodontitis during orthodontic tooth movement.	Journal of Periodontology 84(10): 1454-1462, 2013
153	Lamela MJ, Pelayo F, Ramos A, Fernandez-Canteli A, Tanaka E	矯正歯科	Analysis of compressive properties of porcine temporomandibular joint disc.	Proceedings of the Conference Materials Structure & Micromechanics of Fracture VII Vol. 592-
154	Ishikawa M, Iwamoto T, Fukumoto S, Yamada Y	小児歯科	Pannexin 3 inhibits proliferation of osteoprogenitor cells by regulating Wnt and p21 signaling	J Biol Chem. 2014 Jan 31;289(5):2839-51.
155	Jun Yokota, Naoyuki Chosa, Shunsuke Sawada, Naoto Okubo, Noriko Takahashi, Tomokazu Hasegawa, Hisatomo Kondo and Akira Ishisaki	小児歯科	PDGF-induced PI3K-mediated signal enhances TGF-beta-induced osteogenic differentiation of human mesenchymal stem cells in the TGF-beta-activated MEK-dependent manner.	Int J Mol Med 2014 Mar;33(3):534-42.
156	Emiko Aomatsu, Noriko Takahashi, Shunsuke Sawada, Naoto Okubo, Tomokazu Hasegawa, Masayuki Taira, Hiroyuki Miura, Akira Ishisaki and Naoyuki Chosa	小児歯科	Novel SCRG1/BST1 axis regulates self-renewal, migration, and osteogenic differentiation potential in mesenchymal stem cells.	Scientific Reports 4 2014 Jan 13;4:3652.

157	Hashimura T, Yamada A, Iwamoto T, Arakaki M, Saito K, Fukumoto S.,	小児歯科	Application of a tooth-surface coating material to teeth with discolored crowns.	PEDIATRIC DENTAL JOURNAL 2013 Apr; 23(1):44-50
-----	--	------	--	--

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 無
・ 手順書の主な内容 1. 臨床研究実施に係る標準業務について、2. 臨床研究に関連する重篤な有害事象対応について	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと(その場合には、その旨を明らかとすること)。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 無
・ 規定の主な内容 1. 管理の概要、2. 手続き及び方法、3. 勧告及び監査	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと(その場合には、その旨を明らかとすること)。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 7 回
・ 研修の主な内容 臨床研究実施の基準と現状、日本における倫理指針と倫理性担保、倫理委員会申請手続き、CRC活動と臨床研究支援、研究倫理、先進医療	

(注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと(その場合には、その旨を明らかとすること)。



## (様式第 4)

## 高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

## 1 研修の内容

希望する診療領域に応じて卒後3～5年を目途に基本領域の専門医を取得し、その後、高度先進医療・先端医療を担うべくサブスペシャリティ領域の専門医の取得を目指す。また本人の希望により、並行して社会人大学院に在籍して医学博士の取得や、臨床技術研鑽及び研究のための他施設（国内外）での研修も可能である。

## 2 研修の実績

研修医の人数	253人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

## 3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
梶 龍児	内科	教授	35年	診療科長・プログラム責任者
佐田政隆	内科	教授	26年	診療科長・プログラム責任者
西岡安彦	内科	教授	26年	診療科長・プログラム責任者
高山哲治	内科	教授	28年	診療科長・プログラム責任者
土井俊夫	内科	教授	36年	診療科長・プログラム責任者
安倍正博	内科	准教授	30年	診療科長・プログラム責任者
佐田政隆	循環器内科	教授	26年	診療科長・プログラム責任者
梶 龍児	神経内科	教授	35年	診療科長・プログラム責任者
高山哲治	消化器内科	教授	28年	診療科長・プログラム責任者
土井俊夫	腎臓内科	教授	36年	診療科長・プログラム責任者
栗飯原賢一	内分泌・代謝内科	講師	23年	診療科長・プログラム責任者
安倍正博	血液内科	准教授	30年	診療科長・プログラム責任者
西岡安彦	呼吸器・膠原病内科	教授	26年	診療科長・プログラム責任者
北川哲也	外科	教授	34年	診療科長・プログラム責任者
丹黒 章	外科	教授	33年	診療科長・プログラム責任者
島田光生	外科	教授	30年	診療科長・プログラム責任者
島田光生	消化器・移植外科	教授	30年	診療科長・プログラム責任者
先山正二	呼吸器外科	准教授	28年	診療科長・プログラム責任者
丹黒 章	食道・乳腺甲状腺外科	教授	33年	診療科長・プログラム責任者
石橋宏樹	小児外科	病院教授	25年	診療科長・プログラム責任者
北川哲也	心臓血管外科	教授	34年	診療科長・プログラム責任者
金山博臣	泌尿器科	教授	32年	診療科長・プログラム責任者
西良浩一	整形外科	教授	26年	診療科長・プログラム責任者
永廣信治	脳神経外科	教授	38年	診療科長・プログラム責任者
久保宜明	皮膚科	教授	26年	診療科長・プログラム責任者
三田村佳典	眼科	教授	27年	診療科長・プログラム責任者
武田憲昭	耳鼻咽喉科	教授	33年	診療科長・プログラム責任者
原田雅史	放射線科	教授	28年	診療科長・プログラム責任者
苛原 稔	産婦人科	教授	35年	診療科長・プログラム責任者
大森哲郎	精神科	教授	33年	診療科長・プログラム責任者
香美祥二	小児科	教授	34年	診療科長・プログラム責任者
田中克哉	麻酔科	准教授	24年	診療科長・プログラム責任者

橋本一郎	形成外科	准教授	26年	診療科長・プログラム責任者
西村匡司	救急科	教授	33年	診療部長・プログラム責任者
坂東良美	病理診断科	准教授	27年	診療部長・プログラム責任者

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

希望する診療領域に応じて専門医、認定医を取得し、多様化する全身疾患に対応し得るよう、より高度で専門的な歯科治療に関する知識・技術等を身につけ、医療人として高い倫理観をもち、有能かつ誠実で信頼される歯科医師の養成を目指す。

2 研修の実績

研修医の人数	9人
--------	----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
永田俊彦	歯科	教授	36年	診療科長・プログラム責任者
田中栄二	矯正歯科	教授	22年	診療科長・プログラム責任者
岩本 勉	小児歯科	教授	12年	診療科長・プログラム責任者
宮本洋二	歯科口腔外科	教授	27年	診療科長・プログラム責任者
河野文昭	総合歯科診療部	教授	30年	プログラム責任者
松尾敬志	第一保存科	教授	35年	プログラム責任者
永田俊彦	第二保存科	教授	36年	プログラム責任者
東 雅之	口腔内科	教授	33年	プログラム責任者
市川哲雄	第一補綴科	教授	30年	プログラム責任者
松香芳三	第二補綴科	教授	26年	プログラム責任者
誉田栄一	歯科放射線科	教授	28年	プログラム責任者
北畑 洋	歯科麻酔科	教授	34年	プログラム責任者

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

<p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容 院内認定コース 看護部では、特定の専門領域において、3年以上の実務経験のある医療者を対象とした質の高い医療人を育成するために、院内認定コースを10コース開講している。 取得後は専門性を生かした質の高いケアを他職種とともにチームで患者に実践している。</li><li>・研修の期間・実施回数 6月～3月・224回</li><li>・研修の参加人数 39名</li> <li>・研修の主な内容 院内認定コース：フォローアップ研修 院内認定取得者のためのフォローアップ研修を年に1回以上実施している。</li><li>・研修の期間・実施回数 7月～1月・19回</li><li>・研修の参加人数 延121名</li> <li>・研修の主な内容 「医療技術職部門キャリア形成支援研修会」 医療技術職を対象に、医師・薬剤・栄養士・看護師など多職種の方々を講師に迎え、各医療技術職の職員の日頃の業務に役立ち、キャリアアップにつながる研修を実施している。 研修内容の例：「PET・CTについて」「糖尿病の食事療法」 「歯周病を予防するためのセルフケア」「認知症への関わり方」 「入れ歯ってどうやって作るの？入れ歯の役目って？」など。</li><li>・研修の期間・実施回数 4月～3月・35回</li><li>・研修の参加人数 893名</li></ul>
<p>② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容 役割拡大実践能力取得コース 医師が行う患者への説明は、限られた時間で、患者個々の理解度に合わせて行うことが出来ないため、医師に代わって、患者の身近にいる看護師が、患者の意思決定を支援することを目指し、治療検査等を含めた補足説明を担うために求められる能力を強化するプログラムを開発し、患者の意思決定を支援する看護師の育成を目的に実施している。</li><li>・研修の期間・実施回数 5月～3月・19回</li><li>・研修の参加人数 5名</li> <li>・研修の主な内容 教育担当者研修 新人及び若手看護師への教育指導を効果的・効率的に実施するため、教育担当者育成プログラムを開発し徳島大学医学部保健学科と連携して教育担当者の育成を目的に実施している。</li></ul>

- ・研修の期間・実施回数 平成26年5月～平成27年3月・30回
- ・研修の参加人数 5名

- ・研修の主な内容

臨床工学士・薬剤師・看護師等に対し，鳥インフルエンザ（H7N9）感染の疑のある患者を受入する場合のシミュレーション研修を実施している。

- ・研修の期間・実施回数 5月・1回
- ・研修の参加人数 40名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容

- ・研修の期間・実施回数

- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年度中の業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 安井 夏生	
管理担当者氏名	・総務課長 熊谷 圭司 ・手術部長 北川 哲也 ・看護部長 木田 菊恵 ・医事企画課長 森 裕之	・医療支援課長 木虎 章 ・薬剤部長 石澤 啓介 ・放射線部長 原田 雅史 ・診療支援部長 高松 典通

	保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	各診療科（部）で保管	各診療科（部）で保管している。（なお、カルテについては、一部電子カルテシステム、診療録管理室にて管理しているものもある。）	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	文書ファイルで保管している。
	高度の医療の提供の実績	医事企画課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事企画課	
	高度の医療の研修の実績	総務課，医事企画課	
	閲覧実績	総務課，医事企画課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事企画課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事企画課，薬剤部		
第規一則号第一に掲げる十の第一項各号及び第九の二十第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課	文書ファイルで保管している
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療支援課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療支援課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療支援課	

	一項	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課	
--	----	------------------------------------	-------	--

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療支援課	文書ファイルで保管している
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療支援課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME管理センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME管理センター	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME管理センター			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME管理センター			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	<input checked="" type="radio"/> 2. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 後藤 郁則	
閲覧担当者氏名	総務課長 熊谷 圭司	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧の手続の概要		
閲覧請求を申請する者は、事前に担当部署に申請を行う。		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。



(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容： 徳島大学病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療（最先端医療を含む）を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。 特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 用語の定義</li><li>2 安全管理に関する基本的考え方</li><li>3 医療に係る安全管理のための取組に関する基本事項</li><li>4 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針</li><li>5 医療上の事故等の報告に関する基本方針</li><li>6 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針</li><li>7 患者等からの相談及び苦情等への対応に関する基本方針</li><li>8 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>9 医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ol>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年14回
<p>・ 活動の主な内容： リスクマネジメント委員会（月1回、臨時2回）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 医療上の事故等防止のための安全管理の方策に関すること。</li><li>2 医療上の事故等発生時の対応に関すること。</li><li>3 医薬品の安全使用に関すること。</li><li>4 医療機器の安全使用に関すること。</li><li>5 その他医療上の事故等に関すること。</li></ol>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年5～6回
<p>・ 研修の主な内容： （平成25年度） 第1回安全管理研修会：「徳島大学病院における安全管理」 第2回安全管理研修会：「輸血の安全管理～製剤の安全向上と院内過誤対策～」 第3回安全管理研修会：「インシデント事例から学ぶ薬の取扱い ①麻薬・毒薬の管理 ②注射薬・調剤におけるトラブル事例」 「抗がん剤の血管外漏出について」 第4回安全管理研修会：「転倒転落について」 第5回安全管理研修会：「報告と連携と確認～高いリスクと、信頼の中で～」</p> <p>（平成26年度） 第1回安全管理研修会：「睡眠薬の適正な使用について」 第2回安全管理研修会：「医療安全における病棟薬剤師の役割」 「麻薬の取り扱いについて」 第3回安全管理研修会：「院内転倒事例分析－2013年上半期－」 「転倒・転落予防へのチャレンジ～チーム活動からの経験～」</p>	

<p>④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. インシデント発生時報告連絡体制を見直し、平成26年度Staff Manualに掲載し直し、報告体制を整備した。</li> <li>2. 「手術・検査の搬入時間等の電話連絡方法について」及び「手術・検査搬入時間等連絡記入用紙」を作成し、確認会話、メモ、復唱の徹底を図り、伝達ミスをなくす取組みを行った。</li> <li>3. 弾性ストッキングによる腓骨神経麻痺等のトラブルをなくすため、現在使用中の弾性ストッキング及び他社製品の弾性ストッキングについて、試着でのアンケート・調査を実施し、最良の弾性ストッキングを選定した。新規弾性ストッキングについて、適正に使用するための研修会及びサイズ選択等適切に着用できているかの調査を実施し指導を行った。</li> </ol> </li> </ul>	
<p>⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況</p>	<p><input checked="" type="radio"/> ( 3名 ) ・ 無</p>
<p>⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況</p>	<p><input checked="" type="radio"/> ( 4名 ) ・ 無</p>
<p>⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 無</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 5 ) 名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本院において発生した医療上の事故等の原因究明，調査，分析及び対策の検討並びに当該医療上の事故等の再発防止に関すること。</li> <li>2 事故等に関する診療録及び看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関すること。</li> <li>3 患者及び家族への説明等事故発生時の対応状況についての確認及び指導に関すること。</li> <li>4 医療上の事故等の防止に関する教育及び研修の企画及び実施に関すること。</li> <li>5 医療上の事故等の防止に関する情報の収集及び提供に関すること。</li> <li>6 医療上の事故防止安全対策マニュアルの改訂に関すること。</li> <li>7 インシデント報告の管理に関すること。</li> <li>8 リスクマネジメント委員会で用いられる資料及び議事要録の作成及び保存，その他リスクマネジメント委員会の庶務に関すること。</li> <li>9 医療安全に係る連絡調整に関すること。</li> <li>10 医薬品の安全使用に係る連絡調整に関すること。</li> <li>11 医療機器の安全使用に係る連絡調整に関すること。</li> <li>12 その他医療上の事故防止及び医療の安全性の向上に関すること。</li> </ol> </li> </ul>	
<p>⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 無</p>

(様式第6)

### 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容： 徳島大学病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療(最先端医療を含む)を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。 特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 用語の定義</li><li>2 安全管理に関する基本的考え方</li><li>3 医療に係る安全管理のための取組に関する基本的事項</li><li>4 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針</li><li>5 医療上の事故等の報告に関する基本方針</li><li>6 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針</li><li>7 患者等からの相談への対応に関する基本方針</li><li>8 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>9 その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 3 回
<p>・ 活動の主な内容： 感染対策委員会（毎月1回、臨時1回）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 院内感染の予防及び対策に関すること。</li><li>2 院内感染防止の実施、監視及び指導に関すること。</li><li>3 院内感染発生時の措置に関すること。</li><li>4 職員の院内感染の教育に関すること。</li><li>5 感染制御部の運営に関すること。</li><li>6 その他院内感染に関すること。</li></ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容： （平成25年度）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 第1回感染対策研修会「鳥インフルエンザH7N9現状と徳島県の対応について」</li><li>2 第2回感染対策研修会「院内感染をめぐる医療訴訟」</li><li>3 第3回感染対策研修会「災害時に必要な感染予防対策と病院職員の役割」</li></ol>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 毎週1回、ICTラウンドを計画的に実施、改善点を部署にフィードバックし、更にICNラウンドで確認している。</li><li>2 抗MRSA薬、カルバペネム系抗菌薬について、届出制を実施しているが、抗MRSAについてはTDMの実施状況と抗MRSAの適正使用について毎月検討している。</li><li>3 HIV/エイズ小委員会では、2ヶ月に1回委員会を開催し、院内のHIV症例の事例検討や検査結果の報告をしている。</li><li>4 職業感染対策として、全職員の抗体の有無を把握している。針刺し等事故対策としては、事故者からのヒアリングまたは面接をすべての事例で行い、改善策をフィードバックしている。</li><li>5 ICUでのBSIサーベイランス、消化器外科でのSSIサーベイランスを実施している。</li></ol>	

6 教育体制として、①感染対策研修会、②部署別出張研修、③研修医研修、④看護師研修（新人2年目、専門）⑤感染管理院内認定コースに分けて計画している。

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容： 「薬剤の安全管理・処方上の注意点と薬剤業務」 「注意すべき薬剤について」 「インシデント事例から学ぶ薬の取り扱い」 「麻薬・毒薬の管理」 「注射・調剤におけるインシデント事例」</li></ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>手順書の作成 (有・無)</li><li>業務の主な内容： 各種薬剤業務、病棟における医薬品管理が適正に行われているかを病棟間相互チェック等の際に調査し、不備な点を指摘し改善している。</li></ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li><li>その他の改善のための方策の主な内容： 全病棟に薬剤師を配置し、持参薬を含め、病棟における医薬品の管理体制を整備した。 薬剤管理指導業務により得られた副作用情報を毎週薬局会で薬剤部員に伝えている。</li></ul>	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年20回
<p>・ 研修の主な内容： 平成25年4月～平成26年3月では、看護師、研修医、コメディカルを対象に「パルスオキシメータ・自動血圧計、輸液ポンプ・シリンジポンプ、手動式肺人工蘇生器・医療ガス（酸素ボンベ）、ベッドサイドモニター（アラーム管理含む）、除細動器（AED含む）、人工呼吸器（NPPV含む）」について実施した。 平成26年4月～平成26年8月では、看護師、研修医、コメディカルを対象に「パルスオキシメータ・自動血圧計」について実施した。 内容は、研修会場に医療機器を持ち込み、実際の事故事例を挙げながらアラームの理解と対処方法を実技形式で開催した。</p> <p>平成25年12月～平成26年3月、使用した経験のない新しい医療機器導入時の研修の対象機器は12機種（システム含む）であり、除細動器、遠心ポンプ駆動システム、全自動尿中有形成分分析装置、全自動尿分析装置、OCセンサー、総合血液学検査装置、自動塗抹標本作成装置、全自動臨床検査システム、血液凝固自動分析装置、多項目自動血球分析装置、回診用X線撮影装置、人工心肺装置システムであった。 内容は、研修会場、機器の設置場所などにて、医療機器販売メーカー担当者から各医療機器の操作方法、アラーム対応などの研修を受講した。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容： 医療機器の定期保守点検（メーカー指定期間による）、予防メンテナン、オーバーホールを医療機器販売メーカーへ依頼し、実施した。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器の添付文書、医療機器販売メーカーからの機器情報を収集している。</p> <p>独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（PMDA）の医薬品医療機器情報配信サービス（PMDAメディナビ）に登録し、「医薬品・医療機器等安全性情報」を収集している。また平成25年5月から、「PMDA医療安全情報」及び「医療機器研修会（資料）」を病院情報システム（HIS）に掲載し、職員が閲覧できる環境に整備した。</p>	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
<p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期</p> <p>IS09001：一般社団法人日本能率協会審査登録センター、2011年11月22日～2014年12月17日</p> <p>プライバシーマーク：一般財団法人医療情報システム開発センター、 2014年5月17日～2016年5月16日</p> <p>病院機能評価：公益財団法人日本医療機能評価機構、2012年5月28日～2017年5月27日</p> <p>IS015189：財団法人日本適合性認定協会、2011年7月6日～2015年7月5日</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・国立大学附属病院評価指標を病院HPにて情報発信</p> <p>国立大学附属病院評価指標は、全国の国立大学病院が、自主的・主体的に自院の機能の質向上を図ると共に、取り組み状況や成果を社会に開示し、理解と信頼を得ることを目的に、共通の指標として国立大学附属病院長会議が策定したものであり、この趣旨に則り評価指標の数値を公表している。</p> <p>・徳島大学病院フォーラム (春・秋) の開催</p> <p>徳島大学病院フォーラムは、大学病院が果たす地域医療への貢献の一環として、地域の皆さんに最新の医療を知っていただくため市民公開講座として、春と秋の年2回開催している。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>耳鼻科と歯科の連携</p> <p>入院患者に対する摂食・嚥下リハビリテーションについて、リハビリテーション部医師、耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師、歯科医師、言語聴覚士による、週1回のカンファレンスを実施している。また、診断の際に必要なVE (嚥下内視鏡検査) の実施について、耳鼻咽喉科・頭頸部外科と協力して実施している。</p> <p>医科と歯科の連携</p> <p>医科入院患者、ICU、SCU患者に対して口腔管理センター・口腔内科が窓口となって口腔ケア</p>	

を実施している。さらに特定の診療科（精神科神経科、血液内科）に特化した口腔ケア体制を構築している。

#### 矯正歯科と形成外科の連携

口蓋裂患者及び顎変形症患者のチーム診療を行うため、カンファレンスを定期的を開催し、口蓋裂患者、顎変形症患者の矯正歯科と形成外科・美容外科間の診療ネットワークを構築している。